

おな は ま りんじょう い い だ
国道6号 小名浜地区(林城～飯田)
第2回計画段階評価

1. 計画段階評価の検討の流れ	・・・ 1
2. 地域の意見聴取結果の確認	・・・ 5
3. 対応方針(原案)の検討	・・・ 26
4. 自治体への意見照会結果	・・・ 29
5. 対応方針(案)のまとめ	・・・ 31

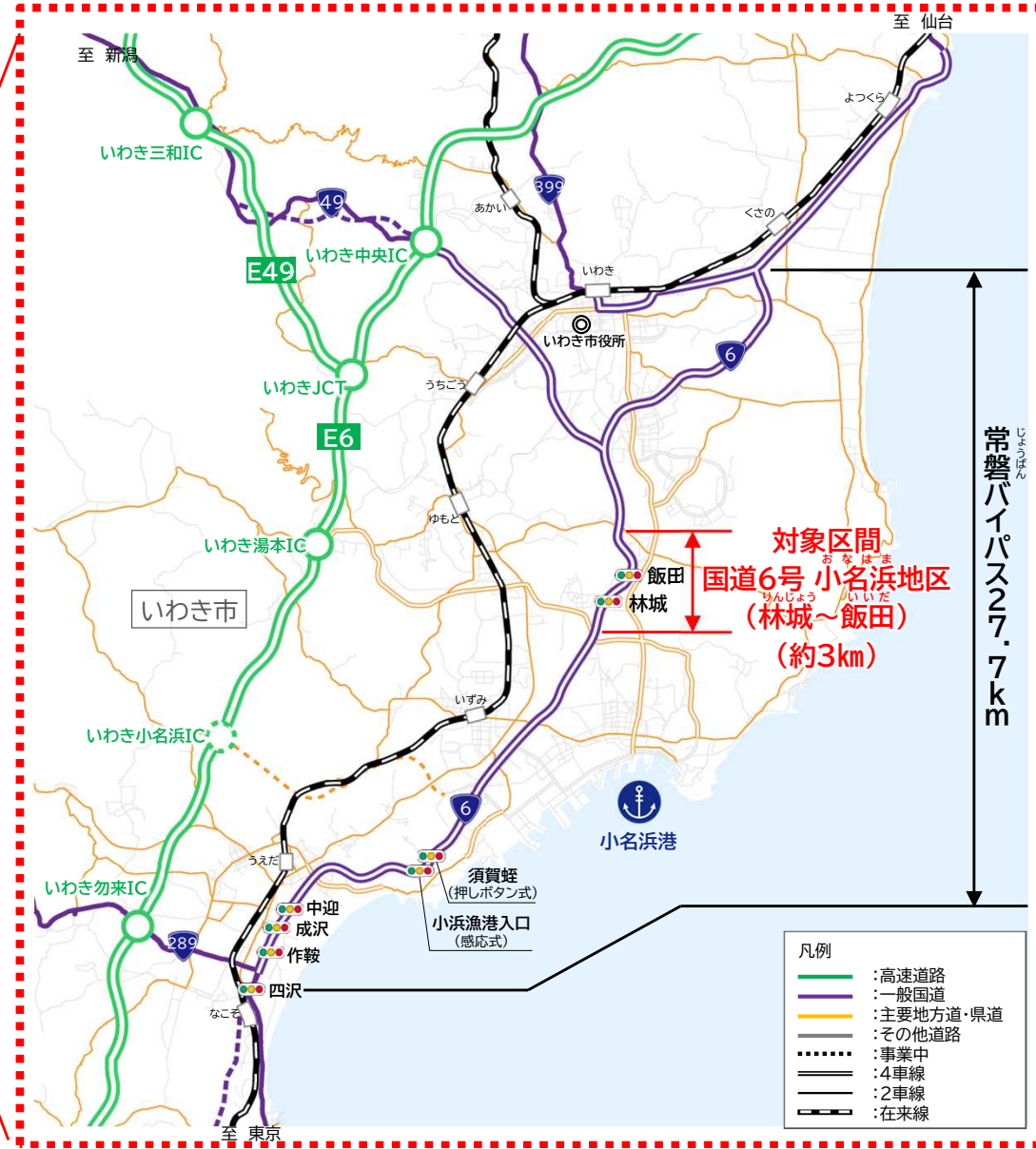
1-1. 評価対象区間

- ◆ 国道6号は、東京都中央区を起点に福島県いわき市を經由し、宮城県仙台市に至る延長約389kmの直轄国道。
- ◆ 評価対象区間(以下、『対象区間』という。)は、平成29年度に全線4車線開通した常磐バイパスのうち、平面交差点が連続する約3kmの区間である。

【図1】広域図



【図2】対象区間位置図



凡例

	: 高速道路
	: 一般国道
	: 主要地方道・県道
	: その他道路
	: 事業中
	: 4車線
	: 2車線
	: 在来線

1-2. 前回(第1回)審議内容

■第40回社会資本整備審議会 道路分科会 東北地方小委員会の概要

実施日:令和5年8月24日(木)開催

議事:①評価対象区間

:②計画段階評価の進め方(案)

:③これまでの検討状況

:④地域の概況

:⑤道路交通・地域の状況と課題

:⑥政策目標(案)の設定

:⑦対応方針(案)の検討

:⑧意見聴取方法(案)

【表1】前回審議における主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況	対応頁
・優先順位に見えるため、アンケートの項目に数字表記しないこと。	・アンケート設問を数字の連番ではなく英語表記に変更。	P7
・アンケートは可能な限りわかりやすい表現となるよう工夫すること。	・対策方針案イラストを平面図から鳥瞰図に変更し、対策案を分かりやすく明示。 ・専門用語を使用せず、平易な表現に見直し。	P7
・過年度整備済みのバイパスでの評価となるため、経緯や課題の要因をわかりやすく明示すること。	・アンケート調査票にこれまでの常磐バイパスの整備経緯や交通課題の要因を明示。 ・対象区間の交通状況を追加し、常磐バイパス全線における対象区間の交通課題を明示。	P8
・積極的に道路利用者に回答してもらう工夫をすること。	・様々な媒体(HP、SNS等)を活用しアンケートの周知を実施。 ・道の駅やトラックターミナル等に留置アンケートを設置して、意見聴取を実施。 ・利用者に幅広く回答してもらえるよう、オープンハウスを実施。	P9
・整備方針策定に向けては、新たな課題が生じないように留意すること。(各交差点に着くまでに確実に減速をさせ、車間距離をとらせるようなソフト対策を今後詳細に検討をしていただきたい。)	・カラー舗装や減速を促す路面標示など、道路構造に応じて実施可能なソフト対策を検討中。	—

1-3. 今後の計画段階評価の進め方（案）

◆ 地域住民・事業者・道路利用者の意見を聞きながら、対応方針案(概略ルート、構造等)について検討。

計画段階評価

地方小委員会

今回

R4.12.19第2回WG
R5.2.15第3回WG
R5.3.10第2回渋滞協

いわき・相双地区WG
(令和4年度第2、3回)
福島県渋滞対策連絡協議会
(令和4年度第2回)

[目的]

- 国道6号小名浜地区では渋滞等の交通課題が残存しているため、ソフト対策、ハード対策等の総合的な渋滞対策の検討を行う。

[検討結果]

- 小名浜地区(林城～飯田交差点)を優先的に課題解消を図る区間とし、現地条件を考慮した渋滞対策の検討を進める
- ソフト対策では渋滞が依然として残る結果

東北地方小委員会
(第1回)
(R5.8.24)

- 計画段階評価手続きの進め方(案)
- これまでの検討状況
- 地域の状況と課題
- 政策目標(案)
- 対応方針(案)
- 意見聴取方法(案)

意見聴取
(R5.10.26～R6.1.20)

- 意見聴取内容
 - ・ 地域、道路の課題
 - ・ 求められる道路機能
 - ・ 対応方針(案)の検討に際し重視する項目
- 意見聴取方法
 - 《アンケート》
対象者: 地域住民
道路利用者
企業 等
 - 《ヒアリング》
対象者: 関係自治体
団体
企業 等

東北地方小委員会
(第2回)

- 意見聴取結果の確認
- 政策目標の決定
- 対応方針案(概略ルート、構造等)

対応方針(概略ルート、構造)の決定

1-4. 対応方針の考え方 / 第1回計画段階評価説明資料より要点抜粋

- ◆ 前回(第1回)審議において、道路交通・地域の課題を整理し、課題解決に向けた政策目標(案)を設定。
- ◆ 政策目標(案)を達成するための対策案を立案し、「②連続高架案」、「④片側高架+平面拡幅案」の2案を対策案に決定。

道路交通・地域の状況と課題

渋滞 主要幹線道路としての円滑性低下

- 直進交通が卓越していることに加え、東西方向から両交差点に流入する交通が多く、交差点は飽和している。
- 信号交差点の存在による通過時間の遅れ。

<原因>・交通容量不足
・信号交差点の連続

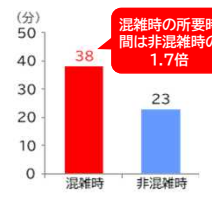


産業・物流 物流の速達性低下

- 渋滞によりルート変更やスケジュール変更を余儀なくされている。
- 産業物流拠点間の移動に時間を要している。

<原因>・交通容量不足

▼小名浜港→集荷拠点の所要時間比較(貨物車)



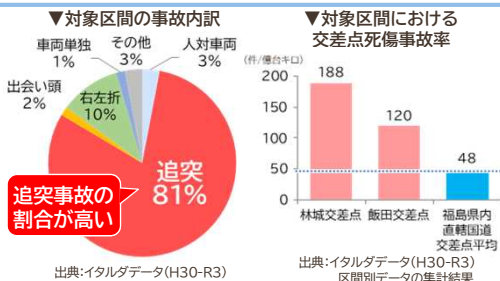
▼東北地方の市町村別製造品出荷額(化学工業)(上位5市町村)



事故 県内平均を上回る事故危険性

- 渋滞に起因する追突事故の割合が高い。
- 急勾配区間における追突事故の多発。

<原因>・渋滞に伴う注意力低下
・急勾配区間の存在



医療 救急搬送の速達性・安定性

- 渋滞により追い越しが出来ず病院到着時間の遅れ、所要時間のばらつきが生じている。
- 加減速及び急勾配区間でのブレーキ操作による患者への負担。

<原因>・交通容量不足
・渋滞に伴う加減速
・急勾配区間の存在

▼救急車の走行状況(混雑時)



政策目標(案)の設定

政策目標(案)

- 主要幹線道路としての円滑性確保
- 安全な交通環境の確保
- 円滑な物流ルート確保
- 救急搬送環境の確保

対策案の立案

	①平面拡幅案	②連続高架案	③両側高架案	④片側高架+平面拡幅案
	全線の車線数を増加する案 (現況:平面4車→計画:平面6車)	全線を連続高架とする案 (現況:平面4車→計画:高架4車(側道2車))	信号交差点のみを高架とする案 (現況:平面4車→計画:高架4車(側道2車))	信号交差点の高架化と車線拡幅の併用案 (現況:平面4車→計画:平面6車、高架4車(側道2車))
構造イメージ				
対策案の可能性	政策目標を十分に達成しないので、対応方針(案)から除外	対応方針(案)として選定	②案に対し、沿道施設等への影響や施工性が劣るが経済性は同程度のため、対応方針(案)から除外	対策方針(案)として選定

「②連続高架案」、「④片側高架+平面拡幅案」について詳細を検討

2-1. 地域の意見聴取の実施内容

◆ 地域の意見聴取は、地域住民・道路利用者・事業者へのアンケート調査、及び関係団体へのヒアリング調査を実施。

1. 意見聴取期間

令和5年10月26日～令和6年1月20日

2. 意見聴取の対象

【表1】アンケート調査による意見聴取の対象

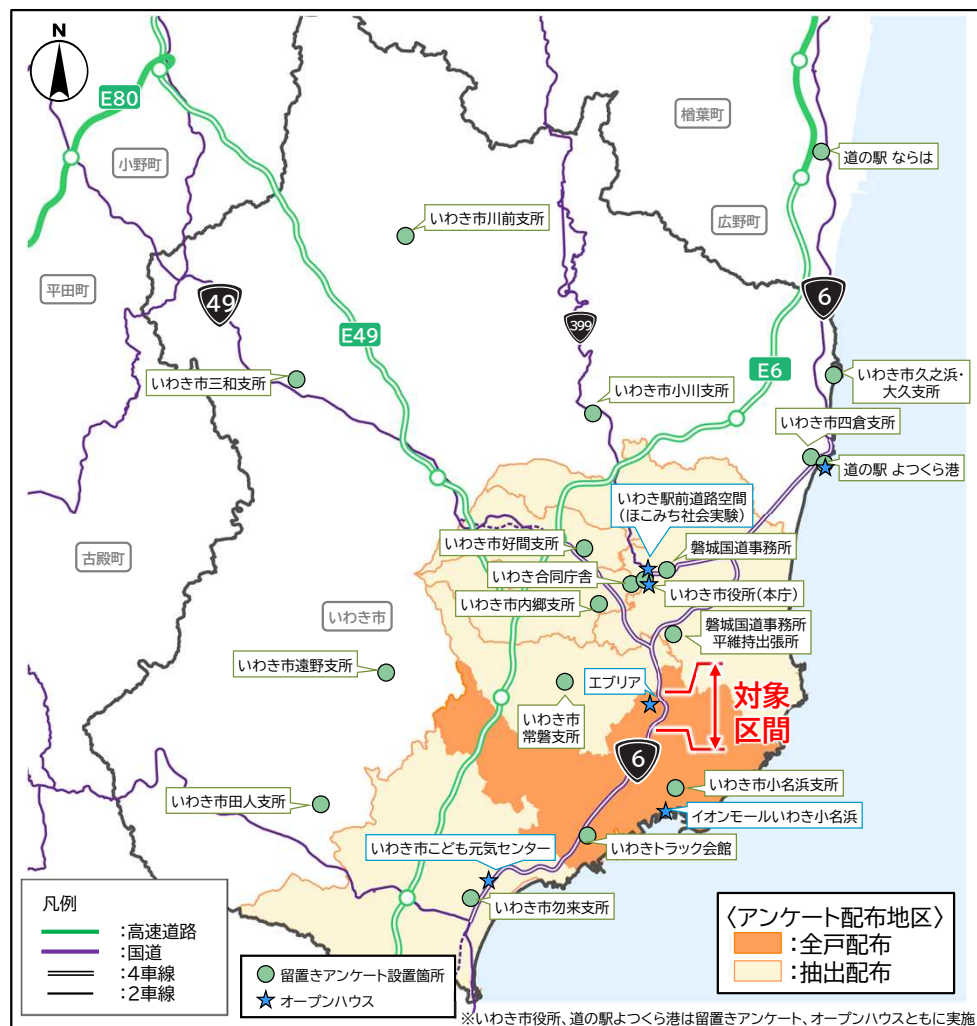
項目	調査対象者	調査手法・規模
地域住民	・いわき市小名浜地区	・全戸配布 小名浜地区:37,023世帯
	・いわき市平地区、勿来地区、好間地区、内郷地区、常磐地区	・抽出配布 5地区合計:36,796世帯 平地区 :20,517世帯 勿来地区: 9,969世帯 好間地区: 718世帯 内郷地区: 3,473世帯 常磐地区: 2,119世帯
道路利用者	・道路利用者	・WEBアンケート(事務所ホームページ) ・留置アンケート(19箇所※1) ・オープンハウス(6箇所※2)
事業者等	・対象区間の利用企業及び周辺立地企業(いわき市)	・郵送配布、郵送回収(230社※3)

【表2】ヒアリング調査による意見聴取の対象

項目	ヒアリング対象
関係団体 (23団体)	・福島県(1団体) ・自治体(1市) ・観光協会(1団体) ・タクシー協会(1団体) ・消防機関(1団体) ・医療機関(2団体) ・教育機関(1校) ・道の駅(1駅)
	・商工会議所(1団体) ・バス事業者(2団体) ・物流関連団体(2団体) ・警察機関(1団体) ・農業関連団体(1団体) ・製造業者(3社) ・福祉関係(2社) ・観光施設(2施設)

※1 留置アンケートについては、以下の施設にアンケート調査票・回収箱を常設した。

- 国土交通省: 磐城国道事務所、平維持出張所
- 福島県 : いわき合同庁舎
- 市役所 : いわき市役所(本庁、小名浜支所、勿来支所、常磐支所、四倉支所、遠野支所、小川支所、三和支所、田人支所、川前支所、久之浜・大久支所、好間支所、内郷支所)
- 道の駅 : 道の駅「よつくら港」、道の駅「ならは」
- トラックターミナル: いわきトラック会館



※2 オープンハウスについては、以下の施設・イベントにてアンケート協力の呼びかけ、及びアンケート調査を実施した。

- 市役所 : いわき市役所(本庁)、いわき市子ども元気センター
- 道の駅 : 道の駅「よつくら港」
- イベント : R399社会実験 いわき駅前公園化計画(ほこみち)
- 商業施設 : イオンモールいわき小名浜、エブリア

※3 トラック協会いわき支部名簿及び、社名読取調査により抽出した企業

2-1. 地域の意見聴取の実施内容

- ◆ 地域住民へのアンケートは、いわき市の小名浜地区に全戸配布、その他の平地区、勿来地区、好間地区、内郷地区、常磐地区に抽出配布、WEBアンケート・留置きアンケート・オープンハウスを実施。全体の回収数は19,640票。郵送配布における世帯単位の回収率は約15%となった。
- ◆ 事業者へのアンケートは、対象区間の利用企業及び周辺立地企業を対象に行い、全体の回収数は308社。郵送配布における回収率は約34%となった。

【表1】アンケート調査票の回収状況

分類	配布方法	配布数	回収数	回収率
地域住民・ 道路利用者	郵送配布 (回答はがきを2枚添付)	73,819世帯	11,249世帯※1 (15,050票※2【うちWEB回答:4,357票】)	約15%
	留置き	—	202票	—
	WEB	—	4,153票	—
	オープンハウス	—	235票	—
	合計	—	19,640票	—
事業者	郵送配布	230社	78社 【うちWEB回答:29社】	約34%
	WEB	—	230社	—
	合計	—	308社	—

※1. 配布はがき1枚目とWEB回答を合計した数
(同一世帯内で、はがき及びWEB上で重複して回答していないことを想定)

※2. ※1に2枚目を合計した数

2-1. 地域の意見聴取の実施内容(アンケート調査票・はがき①)

- ◆ 回答はがき付の「アンケート調査票」を郵送配布。
- ◆ 対策方針案イラストを平面図から鳥瞰図に変更し、構造イメージを分かりやすく明示。

<アンケート調査票 表面>

おなほま りんじょう いいだ
はがき回答票
 地域のみなさま用

国道6号 小名浜地区(林城～飯田) 道路計画検討に関するアンケート調査

国道6号小名浜地区(林城～飯田)の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

▼ 回答方法は **Web** または **はがき** からお選びいただけます。

Webで回答する 以下のどちらかの方法でお答えください。**手軽なWeb回答** 必ずお読みください!

① **スマートフォンから**
 スマートフォンでQRコードを読み取り、アプリをダウンロードして回答してください。

② **パソコンから**
 郵城国道事務所を検索し、「国道6号 小名浜地区(林城～飯田)」のページをクリックしてください。

はがきで回答する 本紙の回答をはがきに入れてお送りください。以下のどちらかの方法で返信してください。

① **郵便ポストに投函**
 お近くの郵便ポストに投函してください。

② **回収ボックスに投函**
 郵城国道事務所、いわき市役所、道の駅などの回収ボックスに投函してください。
※ 回収ボックスには「郵城国道事務所」で検索し、回収ボックスの位置を地図上でご確認ください。

※ より多くの方のご意見をお聞きするため、回答はがきは **各世帯に2枚** 送付しています。
 この世帯やお知り合いの方でご協力いただける場合は、お手持ちのアンケート用紙をおくのを除き、別途お申し込みをさせていただきます。ご協力をお願いします。

回答はがき ※回答はがきは2枚あります。お一人様1枚ずつの回答をお願いします。 **締め切り 令和6年1月20日(土)**

■ 地域意見聴取内容

- [回答者属性] 年齢、職業、性別(任意)、住所、運転免許の有無
- [対象範囲の利用状況] 目的、手段、頻度
- [質問①] 対象区間の課題の度合
- [質問②] 質問①以外に課題と感じていること
- [質問③] 対応方針を検討する際の重視すべきと思われる度合
- [質問④] 重視すべきと思われる理由
- [質問⑤] その他重視すべきと思われる項目

<事業概要・対応方針案 表面(抜粋)>

対策方針案イラストを平面図から鳥瞰図に変更し、対策案を分かりやすく明示

対応方針案(2案)の比較

	第1案 連続高架案 2つの交差点を連続して高架とする案 (高架部:4車線(側道部:2車線))	第2案 片側高架+平面拡幅案 林城交差点を拡幅、飯田交差点を高架とする案 (平面部:6車線、高架部:4車線(側道部:2車線))
構造イメージ		
主要幹線道路としての円滑性確保	交通容量の確保、信号交差点の削減 ・信号交差点の高架化により、交通の流れがよくなり、渋滞が緩和する。 ・信号交差点の高架化により、信号待ちの時間が無くなり、走行の円滑性が向上する。	飯田交差点の高架化及び車線拡幅により、交通の流れがよくなり、渋滞が緩和する。 ・ただし、林城交差点の信号が残るため、信号待ちの時間が残り、走行の円滑性の向上は限定的である。
安全な交通環境の確保	安全な交通環境 ・渋滞の緩和により、渋滞が原因となる交通事故の減少が期待される。 ・飯田交差点の高架化や交差点北側の坂が緩やかになることにより、追突事故の減少が期待される。	・渋滞の緩和により、渋滞が原因となる交通事故の減少が期待される。 ・飯田交差点の高架化や交差点北側の坂が緩やかになることにより、追突事故の減少が期待される。 ・ただし、林城交差点の信号が残るため、渋滞が原因となる交通事故の減少は限定的である。
円滑な物流ルートの確保	物流ルートの速達性の向上 ・渋滞の緩和により、物流ルートの速達性が向上する。	・現状よりも渋滞が緩和され、物流ルートの速達性が向上する。
救急搬送環境の確保	救急搬送の速達性、安定性の向上 ・渋滞の緩和により、救急搬送の速達性・走行の安定性が向上する。 ・飯田交差点北側の坂が緩やかになるため、救急搬送の走行の安定性が向上する。	・現状よりも渋滞が緩和され、救急搬送の速達性・走行の安定性が向上する。 ・飯田交差点北側の坂が緩やかになるため、救急搬送の走行の安定性が向上する。
自然環境の改変	自然環境の改変 ・高架区間が一定区間連続しており、高架下を道路空間として活用できるため、沿道の桜堤への影響が小さい。	・高架区間が短いため高架下を道路空間として活用できず、道路拡幅等に併用し用地買収が必要となるため、沿道の桜堤への影響が大きい。
沿道アクセス	沿道施設へのアクセス性 ・区間全体を高架としており、沿道施設には側道を経由してアクセスする必要があるため、現状よりもアクセス性は下がる。	・沿道施設には直接アクセスできるため、アクセス性は現状と同等。
用地への影響	沿道施設の用地への影響 ・高架区間が一定区間連続しており、高架下を道路空間として活用できるため、沿道施設の用地への影響が小さい。	・高架区間が短いため高架下を道路空間として活用できず、道路拡幅等に併用し用地買収が必要となるため、沿道施設の用地への影響が大きい。
沿道環境への影響	騒音・振動 ・工事期間中は、高架橋脚の基礎工事に伴い、騒音・振動に配慮する必要がある。 ・供用後は、高架区間では道音壁等により騒音対策を実施しやすい。	・工事期間中は、高架橋脚の基礎工事に伴い、騒音・振動に配慮する必要がある。 ・供用後は、高架区間では道音壁等により騒音対策を実施しやすい。
経済性	整備に関する費用 約350～410億円	約270～330億円

<回答はがき 裏面>

国道6号小名浜地区(林城～飯田) アンケート調査 回答欄 1枚目

質問① 対象区間にはどのような課題があると思いますか?
 以下のA～Dの各項目について、あてはまる番号1～3に○をつけてください。
 あなたの評価程度: 1.その通り 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.その思わない

項目	あなたの評価程度			
A. 交通渋滞が発生し、日常生活の移動に支障を感じる	1	2	3	4
B. 交通事故が多く安全性が低いと感じる	1	2	3	4
C. 効率的な物流活動を阻害していると感じる	1	2	3	4
D. 救急搬送時の速達性や安定性が低いと感じる	1	2	3	4

質問② 質問①で提示した項目以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

質問③ 対応方針を検討する際に重視すべきと思うことは何ですか?
 以下のA～Jの各項目について、あてはまる番号1～3に○をつけてください。
 あなたの評価程度: 1.重視すべき 2.必ずしも重視しなくてよい 3.重視しなくてよい

項目	あなたの評価程度		
A. 評価対象区間(林城～飯田交差点)の渋滞が改善すること	1	2	3
B. 交通事故が少なくなり、走行時の安全性が向上すること	1	2	3
C. 目的地への移動時間が明確に、到着時間が読みやすくなること	1	2	3
D. 救急搬送の時間が短くなり、速達性・安定性が向上すること	1	2	3
E. 道路沿いの自然環境(桜堤)への影響が小さいこと	1	2	3
F. 沿線から国道6号へのアクセスがしやすいこと	1	2	3
G. 道路整備に伴う沿道や家屋等への影響が小さいこと	1	2	3
H. 工事中の騒音・振動が小さいこと	1	2	3
I. 供用後の騒音・振動が小さいこと	1	2	3
J. 道路をつくる費用が安いこと	1	2	3

質問④ 質問③の中で特に重視する項目について、その理由を記載してください。
 項目: ※複数回答可

質問⑤ 質問③の項目以外で、重視すべきと思われることを記載してください。

アンケート設問を数字の連番ではなく英語表記に変更

専門用語を使用せず、平易な表現に見直し。
 例)急勾配が解消 ⇒ 坂が緩やかになる

ご協力ありがとうございました

2-1. 地域の意見聴取の実施内容(アンケート調査票・はがき②)

◆ アンケート調査票にこれまでの常磐バイパスの整備経緯や交通課題の要因を明示。

<事業概要・対応方針案 表面(抜粋)>

<事業概要・対応方針案 裏面>

みなさまのご意見をお聞かせください!

国道6号 小名浜地区(林城～飯田)
おな は ま りんじょう いいた
道路計画検討に関するアンケート調査

全5問
(約4分程度)

- 国道6号「常磐バイパス」は、いわき市内を南北に通る延長約28kmの道路です。昭和41(1966)年度に事業化し、平成11(1999)年度に全線2車線2車線化され、平成29(2017)年度に全線4車線化されました。
- 沿線エリアでは工業団地の造成や企業の立地など地域開発が進み、現在では東北有数の工業地帯となっています。また、いわき市内の観光周遊、救急車による搬送、さらには、日常の通勤・通学など、様々な場面で常磐バイパスが利用され、地域活動に不可欠な存在となっています。
- 常磐バイパスは、信号交差点が少ないため走行しやすい道路環境となっていますが、一部区間は朝夕の時間帯を中心に著しい渋滞が発生し、地域の大きな課題となっています。
- 本アンケートは、対象区間(国道6号 小名浜地区(林城～飯田))の課題を解決する道路計画検討にあたり、皆様が行う調査です。

※ご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の情報等は特定されることはありません。

今回のアンケートと調査票にこれまでの常磐バイパスの整備経緯や交通課題の要因を明示

- 地域や道路交通の現状と課題の整理
- 政策目標案の設定
- 対応方針案の検討

アンケート
この区間の道路についてご意見をお聞かせください

- 道路交通・地域の課題把握
- 対応方針案に対する意見の把握

対応方針案の決定

お問い合わせ
国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所 調査課
TEL 0246-23-0963 Email thr-iwaki01@mlit.go.jp
(平日 8:30～17:15)

アンケートのご回答は **令和6年1月20日(土)** までをお願いします。

対象区間が抱えている課題と対応方針の考え方

HPでさらに詳しく紹介中!!

対象区間の交通状況

- 常磐バイパスの整備が進むにつれて対象区間の交通量は増加しており、現在では常磐バイパスにおいて最大の1日あたり約47,200台が通行しています。
- 常磐バイパスの主要交差点は立体化されていますが、小名浜地区の林城交差点と飯田交差点は平面で交わる信号交差点のため、交通の流れが阻害されて、朝夕の時間帯を中心に慢性的な渋滞が発生しています。

対象区間の交通量

区間	日交通量(台/日)
林城交差点	311
飯田交差点	390
小名浜地区	383
常磐バイパス	253
飯田交差点	255
林城交差点	393
飯田交差点	472

対象区間の交通量推移
2018年(前年比) 2019年(前年比) 2020年(前年比) 2021年(前年比) 2022年(前年比)

対象区間が抱えている課題

A 主要幹線道路として
対象区間の交通状況を追加し、常磐バイパス全線における対象区間の交通課題を明示

- 信号交差点が短区間で連続し、また、周辺道路から流入する交通や市道から流入する交通も多いため、混雑しています。
- 信号待ちの時間により、走行の円滑性が低下しています。

⇒信号交差点の連続により慢性的な渋滞が発生し、スムーズな走行ができません。

B 県内平均を上回る事故危険性

- 事故の危険性が県内の国が管理する国道交差点より高く、県内平均の約3～4倍です。
- 渋滞や急な坂が原因の追突事故が多発しています。

⇒ 県内平均を上回る事故危険性があり、安全性が低下しています。

C 物流の速達性低下

- トラックが渋滞を避けるため、輸送ルートやスケジュールの変更を余儀なくされています。
- トラックが渋滞に巻き込まれ、貨物の輸送に時間を要しています。

⇒ 渋滞により、円滑な物流が確保されていません。

D 救急搬送の速達性・安定性低下

- 渋滞により追越が困難なため、救急車が病院に着くまでの遅れや、所要時間にばらつきが生じています。
- 救急車が急な坂のためブレーキを踏む回数が多くなり、搬送中の患者への負担が生じています。

⇒ 渋滞等により、救急搬送の速達性や走行の安定性に支障が生じています。

対応方針の考え方

- 対応方針を検討する上で重視すべき事項について、以下の9項目を考えています。

政策目標	配慮すべき事項
<ul style="list-style-type: none"> ● 主要幹線道路としての円滑性確保 ● 安全な交通環境の確保 ● 円滑な物流ルートの確保 ● 救急搬送環境の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境への影響 ● 沿道環境への影響 ● 用地への影響 ● 経済性

地域の課題解消のため、2つの対応方針案を立案しました

案1 連続高架案
2つの交差点を連続して高架とする案です

案2 片側高架+平面拡幅案
林城交差点を拡幅、飯田交差点を高架とする案です

▼小名浜地区一集荷拠点の所要時間比較(貨物車)
定時時 38分
非定時時 23分
出典:ETC2.0の70-79ゾーン(R10.10平日)

▼東北地方の市町村別製造品出荷額(化学工業)(上位5市町村)
2,298 2,151
1,073 752 623
出典:R3経済センサス

▼救急車の走行状況(混雑時)
H30.10.18(木) 6:45-8:30 飯田交差点から仙台方面を撮影

2-2. 地域の意見聴取の実施内容(広報)

- ◆ アンケート調査は、地域住民への郵送配布、留置、WEBで実施。
- ◆ 調査の周知に向けて、新聞広告や自治体広報・磐城国道事務所HP・SNS へ掲載したほか、利用者に幅広く回答してもらえるようオープンハウスを実施。

様々な媒体(HP、SNS等)を活用しアンケートの周知を実施。

【図1】磐城国道事務所HP(抜粋)

▶ 国道6号小名浜地区(林城～飯田)の渋滞対策に関するアンケート

■ アンケート対象区間について

今回のアンケートと道路計画の流れ

- ・地域や道路交通の現状と課題の整理
- ・政策目標案の設定
- ・対応方針案の検討

今回 アンケート

- ・道路交通・地域の課題把握
- ・対応方針案に対する意見の把握

対応方針案の決定

【図2】新聞広告(福島民報・福島民友)

国道6号 小名浜地区(林城～飯田)の道路計画検討に関するアンケート調査を実施しております。

アンケートにご協力をお願いします 実施期間 令和6年1月20日(土)まで

①スマートフォンから
スマートフォンで右の二次元コードからアクセスしてください。

②パソコンから
磐城国道事務所HPで検索し、右のバナーをクリックしてください。

③郵便ポストまたは回収ボックスに投函
対象区間の近所にお住まいの方は、郵送にて調査票を配布します。ご活用がけ、回答をご記入いただき、お近くの郵便ポストまたは回収ボックスへ投函をお願いします。

お問い合わせ
国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所 調査課
☎ 0246-23-0963 (中継:9時～17時)
✉ thr-iwaki01@mit.go.jp

【図3】SNS(磐城国道事務所のX(旧Twitter))

国土交通省 磐城国道事務所 @iwaki_mlit

国道6号小名浜地区(林城～飯田)における道路計画の検討にあたり、道路を利用される方が日ごろ感じている道路交通や地域の課題、対応方針案を検討する上で重視すべき事項等について、ご意見をお伺いするアンケート調査及びヒアリング調査を行います。詳しくはこちらからthr.mit.go.jp/iwaki/jigyoo/an...

午後4:06 · 2023年10月25日 · 1,013 件の表示

【図4】WEBアンケート(地域住民)(抜粋)

みなさまのご意見をお聞かせください!

国道6号 小名浜地区(林城～飯田) 道路計画検討に関するアンケート調査

地域のみなさま用

国道6号小名浜地区(林城～飯田)道路計画検討に関するアンケート調査(地域のみなさま用)

- 国道6号常磐バイパスは、いわき市市街地からいわき市平下神谷を結ぶ延長27.7kmの国道となっており、地域間を繋ぐ交通の要路です。
- 昭和41年度に事業化され、平成11年度に全線2車線、平成29年度に全線4車線開通しました。
- 事業化以降、工業団地造成や企業立地などの地域開発が進み、現在では東北有数の工業地帯として常磐バイパスは欠かせない存在です。
- バイパスの整備により、各地域間の移動に要する所要時間が短縮され、通勤や物流・緊急搬送などの利便性向上に寄与していますが、一部渋滞が課題となっている区間があります。
- 本アンケートは、対象区間の課題を解決するにあたり、地域の皆様が日ごろ感じている道路交通の課題や、対応方針案を検討する上で重視すべき項目について、ご意見をお聞きするために行う調査です。
- こちらの密着フォームでは、個人単位でご回答をお願いいたします。なお、ご回答につきましては、お1人様1回としてください。
- なお、ご意見は統計的に処理し、住所・職業や個人の意見等が特定されることはございません。

※所要時間4分程度、計7ページ

道の駅やトラックターミナル等に留置アンケートを設置して、意見聴取を実施

【写真1】留置アンケート設置状況(道の駅 よつくら港 情報館)



利用者に幅広く回答してもらえるよう、オープンハウスを実施。

【写真2】オープンハウス実施状況

(イオンモールいわき小名浜) (各案の整備イメージ(3D映像))



林城交差点

第1案 連続高架案

第2案 片側高架+平面拡幅案

※本映像は整備イメージです

対象区間位置図

アンケート対象区間
対象区間の道路についてご意見をお聞かせください

2-3. 地域の意見聴取の結果(アンケート調査)/属性1

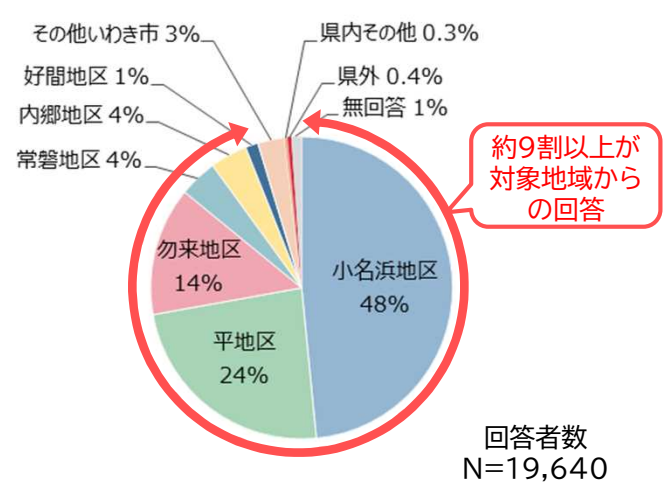
◆ 地域住民・事業者の両アンケートとも、調査対象地域からの回答が約9割以上を占め、その内、約5割が小名浜地区。

あなたについてお聞かせください。(住所)

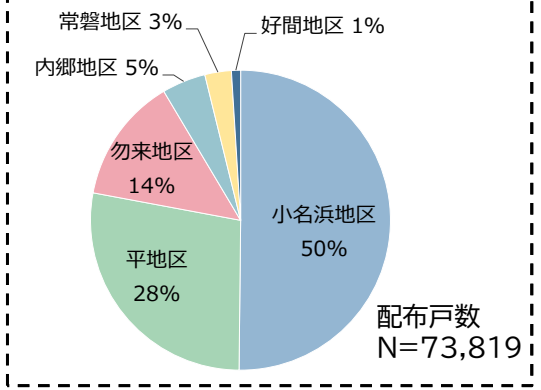
地域住民アンケート

事業者アンケート

【図1】回答者居住地分布

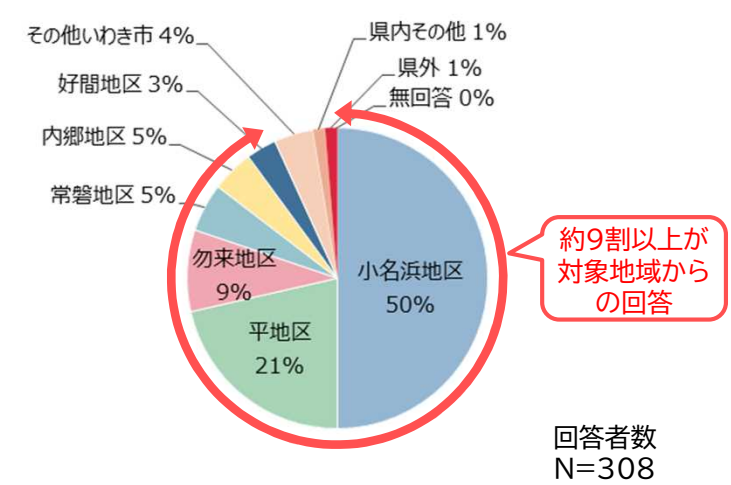


【参考】地区別配布戸数の割合



約9割以上が対象地域からの回答

【図2】事業所所在地分布



約9割以上が対象地域からの回答

【表1】調査手法別回答数(地域住民)

	回答数				合計
	郵送	留置	オープンハウス	web	
小名浜地区	5,593	47	41	3,832	9,513 (48%)
平地区	2,345	53	102	2,159	4,659 (24%)
勿来地区	1,535	12	16	1,139	2,702 (14%)
常磐地区	349	8	14	428	799 (4%)
内郷地区	356	9	13	404	782 (4%)
好間地区	74	8	5	179	266 (1%)
その他いわき市	196	44	24	298	562 (3%)
県内その他	18	5	6	38	67 (0.3%)
県外	25	9	10	31	75 (0.4%)
無回答	202	7	4	2	215 (1%)
計	10,693 (54%)	202 (1%)	235 (1%)	8,510 (43%)	19,640 (100%)

【表2】調査手法別回答数(事業者)

	回答数		合計
	郵送	web	
小名浜地区	23	131	154 (50%)
平地区	6	60	66 (21%)
勿来地区	5	22	27 (9%)
常磐地区	4	12	16 (5%)
内郷地区	1	13	14 (5%)
好間地区	2	8	10 (3%)
その他いわき市	7	6	13 (4%)
県内その他	1	3	4 (1%)
県外	0	4	4 (1%)
無回答	0	0	0 (0%)
計	49 (16%)	259 (84%)	308 (100%)

※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

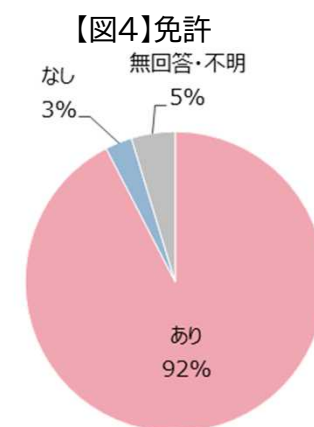
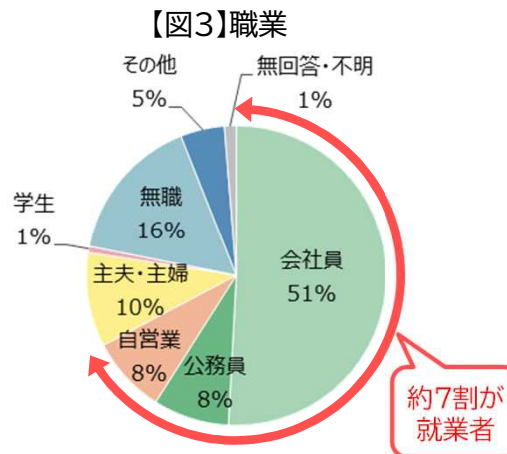
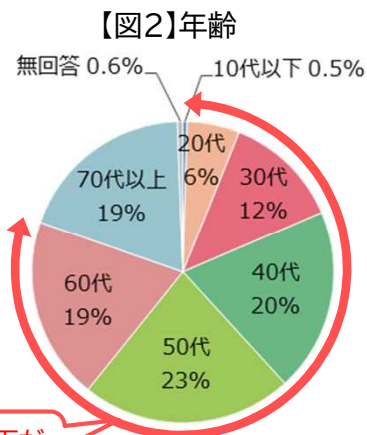
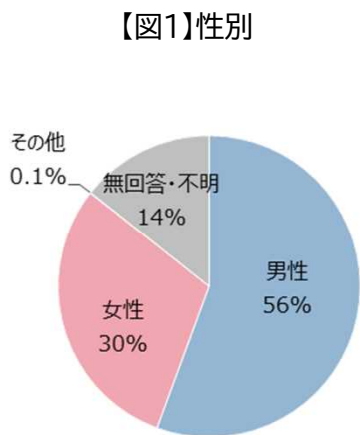
2-3. 地域の意見聴取の結果(アンケート調査)/属性2

- ◆ 地域住民アンケートでは、年齢別回答率は60代以下が約8割を占めている。
- ◆ 職業別回答率は、就業者が約7割を占めており、統計データと比べ就業者の割合が大きい。
- ◆ 事業者アンケートの属性では、業者は「運輸業」「サービス業」「建設業」で約7割を占めた。

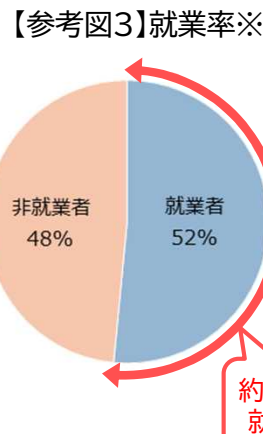
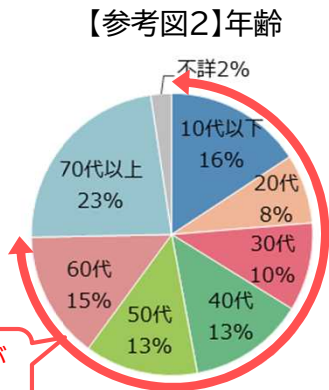
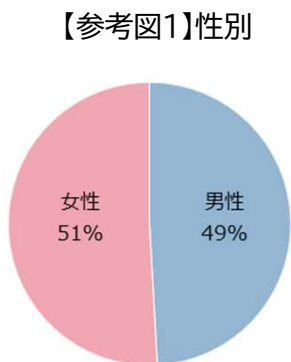
あなたについてお聞かせください。(住民:性別、年齢、職業、免許 事業者:業種)

地域住民アンケート

回答者数 N=19,640



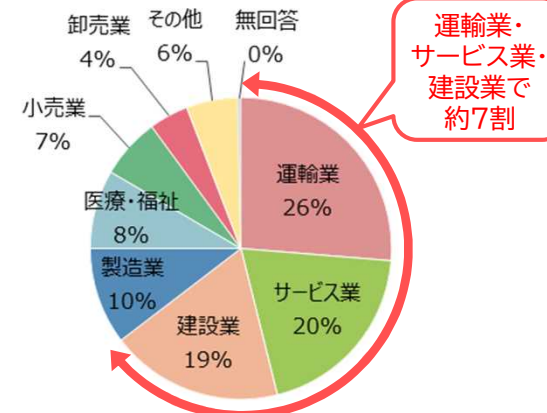
【参考】国勢調査(いわき市)の統計データ



※就業率=15歳以上の人口に占める就業者の割合 (出典:R2国勢調査)

事業者アンケート

回答者数 N=308



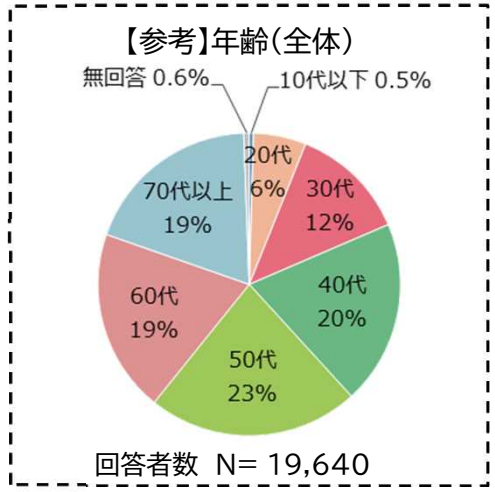
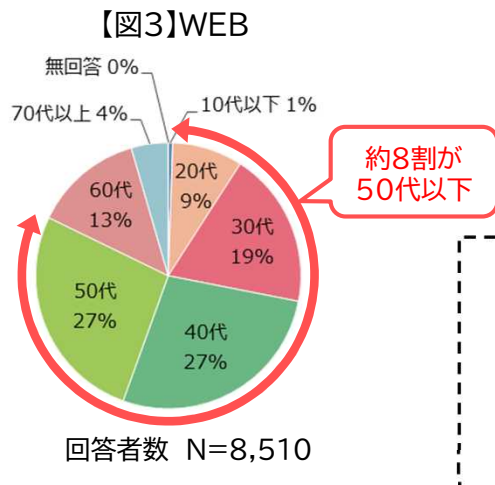
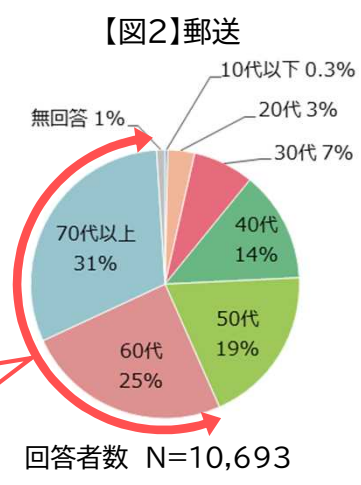
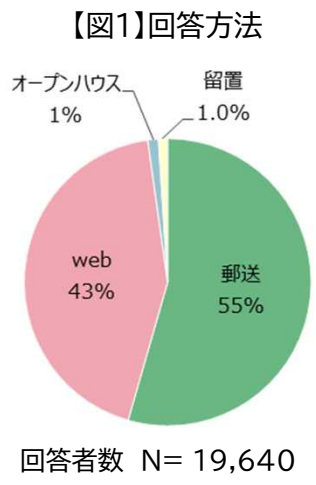
2-3. 地域の意見聴取の結果(アンケート調査)/属性3

- ◆ 地域住民アンケートの回答方法では、郵送は約6割、WEBが約4割であった。
- ◆ 郵送による回答は60代以上が約6割を占めているのに対し、WEB回答は50代以下の回答が約8割を占めている。

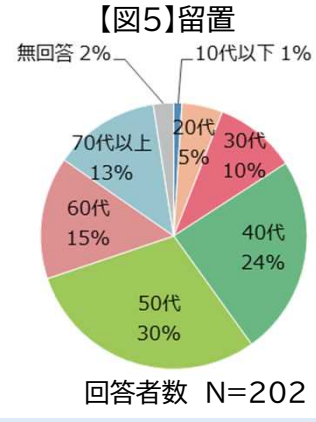
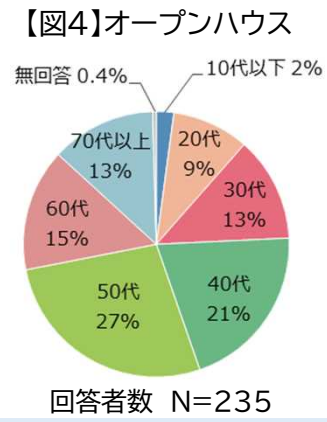
あなたについてお聞かせください。(地域住民:年代別・回答方法別の回答割合)

回答方法別

<年代別・回答方法別の回答割合>



	回答数	%
郵送	10,693	55%
WEB	8,510	43%
オープンハウス	235	1%
留置	202	1%
計	19,640	100%



2-3. 地域の意見聴取の結果(アンケート調査)/アンケートを知ったきっかけ

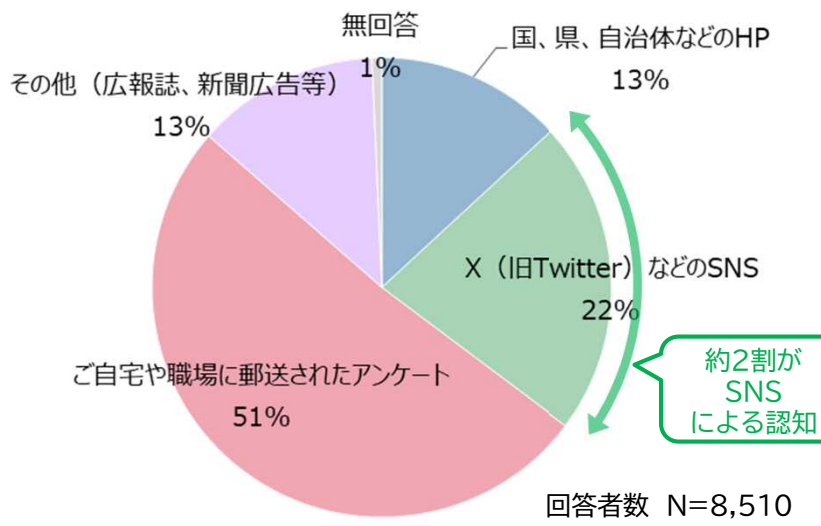
- ◆ 地域住民アンケートのWEB回答において、アンケートを知ったきっかけの回答割合はSNSが約2割。
- ◆ 年代別にみると、若年になるにつれてSNSの割合が多くなっている。

このアンケートを何で知りましたか。(地域住民:年代別・アンケートを知ったきっかけ別の回答割合) ※WEBアンケートのみの設問

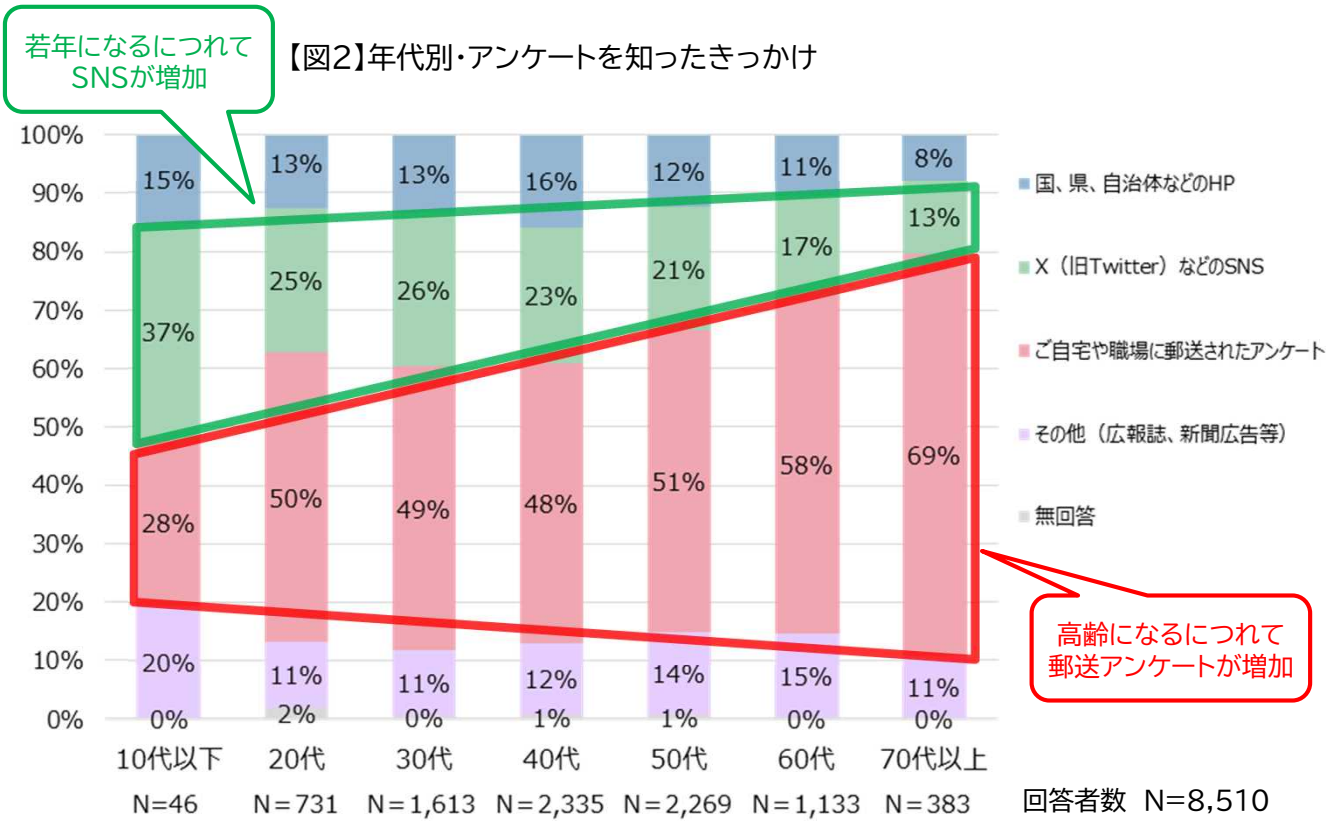
WEBアンケートに関する回答割合

回答者数 N=8,510

【図1】アンケートを知ったきっかけ



【図2】年代別・アンケートを知ったきっかけ



若年になるにつれて SNSが増加

約2割が SNSによる認知

高齢になるにつれて 郵送アンケートが増加

	回答数	%
国、県、自治体などのHP	1,117	13%
X (旧Twitter) などのSNS	1,882	22%
ご自宅や職場に郵送されたアンケート	4,357	51%
その他 (広報誌、新聞広告等)	1,095	13%
無回答	59	1%
	8,510	100%

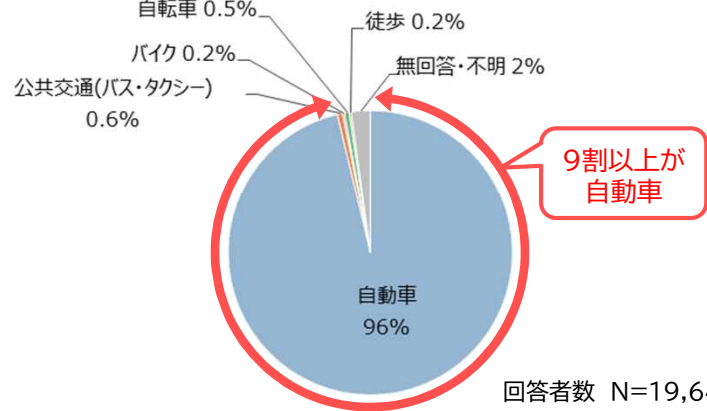
2-3. 地域の意見聴取の結果(アンケート調査)/利用状況

- ◆ 移動手段は、地域住民アンケートでは自動車は9割以上、事業者アンケートは乗用車が約5割、貨物車が約4割を占めた。
- ◆ 利用目的は、地域住民アンケートでは日常利用が約8割、事業者アンケートでは「運送・運輸」と「営業」で約8割を占めた。
- ◆ 利用頻度は、地域住民アンケートでは週に1回以上の利用が約7割、事業者アンケートでは週1回以上の利用が約9割を占めた。

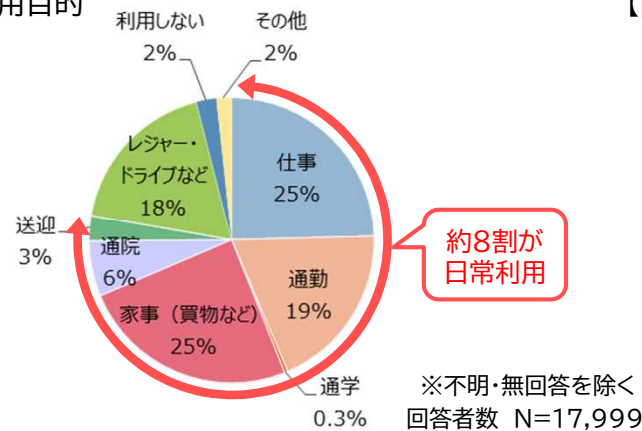
対象区間(国道6号小名浜地区(林城～飯田))の道路利用についてお聞きします。

地域住民アンケート

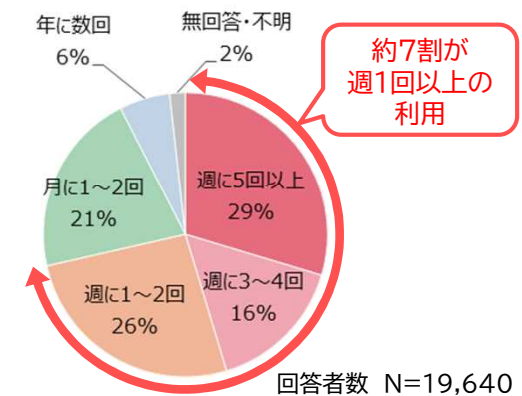
【図1】移動手段



【図2】利用目的

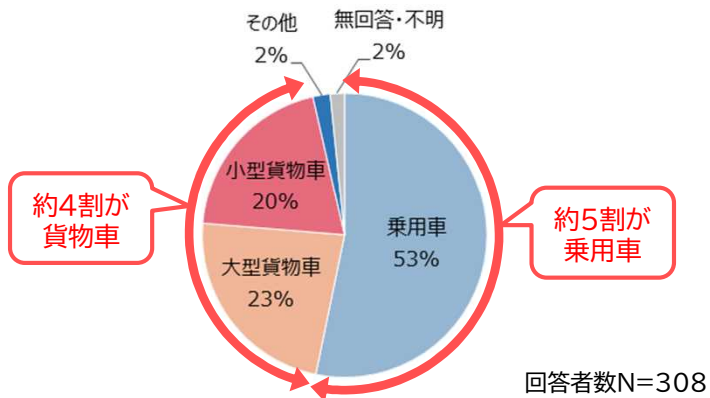


【図3】利用頻度

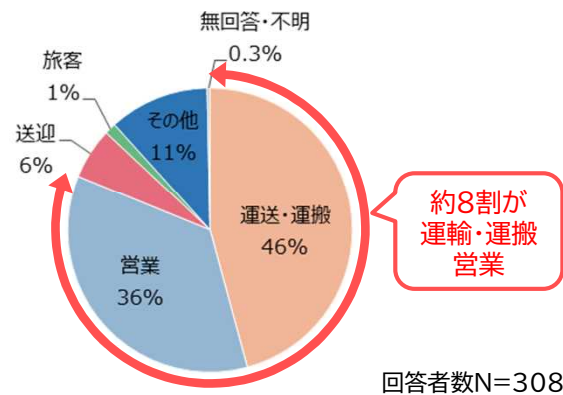


事業者アンケート

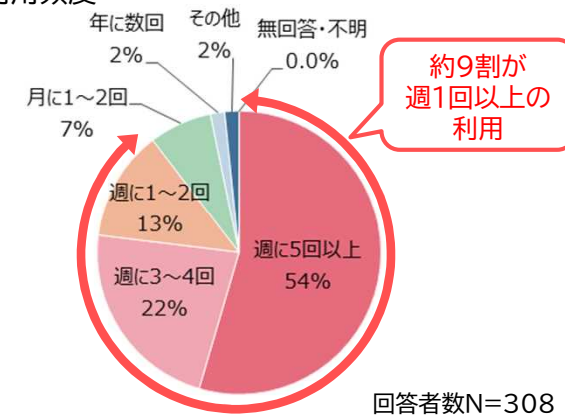
【図4】移動手段



【図5】利用目的



【図6】利用頻度



2-3. 地域の意見聴取の結果(対象区間の課題について)

◆ アンケート調査で地域の課題について意見聴取を実施し、政策目標(案)の確認を行った。

質問① 対象区間にはどのような課題があると思いますか？以下のA～Dの各項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

あなたの評価程度:1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない

- A. 交通渋滞が発生し、日常生活の移動に支障を感じる
- B. 交通事故が多く安全性が低いと感じる
- C. 効率的な物流活動を阻害していると感じる
- D. 救急搬送時の速達性や安定性が低いと感じる

質問② 質問①で提示した項目以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

質問③ 対応方針を検討する際に重視すべきと思うことは何ですか？以下のA～Jの各項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

あなたの評価程度:1.重視すべき 2.必ずしも重視しなくてよい 3.重視しなくてよい

- A. 評価対象区間(林城・飯田交差点)の渋滞が改善すること(渋滞)
- B. 交通事故が少なくなり、走行する際の安全性が向上すること(事故)
- C. 目的地への移動時間が短縮し、到着時間が読み易くなること(移動時間)
- D. 救急搬送の時間が短くなり、速達性・安定性が向上すること(救急搬送)
- E. 道路沿いの自然環境(桜堤)への影響が小さいこと(自然環境)
- F. 沿線から国道6号へのアクセスがしやすいこと(沿道からのアクセス)
- G. 道路整備に伴う沿道や家屋等への影響が小さいこと(沿道用地への影響)
- H. 工事中の騒音・振動が小さいこと(工事中の騒音・振動)
- I. 供用後の騒音・振動が小さいこと(供用後の騒音・振動)
- J. 道路をつくる費用が安いこと(経済性)

質問④ 質問③の中で特に重視する項目について、そう思われる理由を記載してください。

質問⑤ 質問③の項目以外で、重視すべきと思われることを記載してください。

政策目標(案)の妥当性を確認

第1回地方小委員会で設定した政策目標(案)

主要幹線
道路として
の円滑性
確保

安全な
交通環境
の確保

円滑な
物流ルート
の確保

救急搬送
環境
の確保

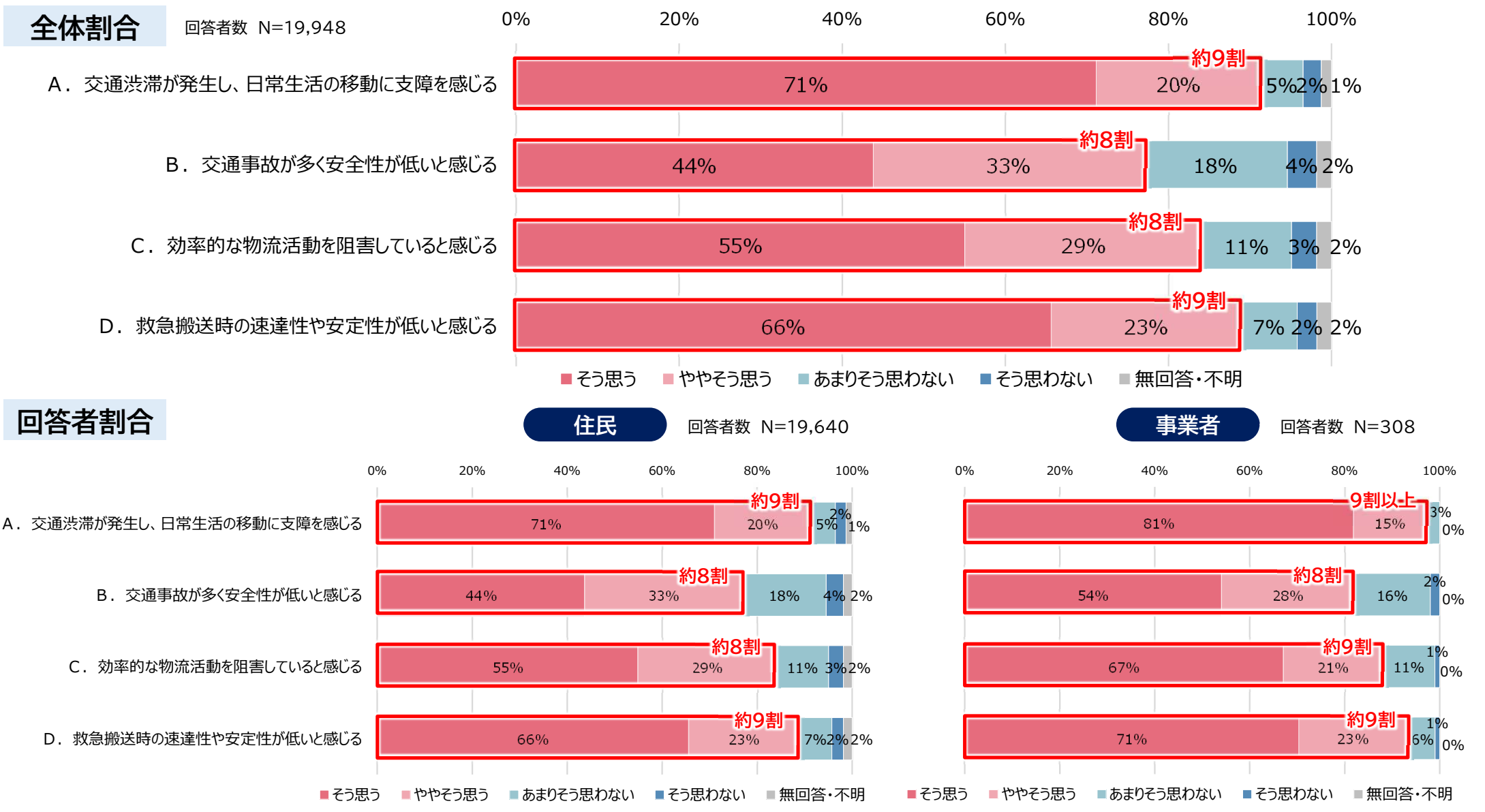
構造検討に際し、比較・評価する
「重視すべき内容」・
「配慮すべき内容」を確認

上記以外の「配慮すべき内容」や
「道路整備に関する意見」を確認

2-3. 地域の意見聴取の結果(アンケート調査)/対象区間の課題

◆ 対象区間の課題について、地域住民・事業者アンケートともにA～Dのいずれの項目も約8割以上が課題と感じている。

質問① 対象区間にはどのような課題があると思いますか？以下のA～Dの各項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。



2-3. 地域の意見聴取の結果(アンケート調査)/対象区間における課題の自由意見

- ◆ 政策目標(案)以外で課題に感じていることは、政策目標(案)に関連する4項目についての回答が多く、特に「渋滞」や「事故」に関する意見が多くみられた。
- ◆ その他意見としては、「交差点間隔が近すぎる」等の意見をいただいた。

質問② 質問①で提示した項目以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

分類		主な意見
政策目標(案)に関連する項目 【3,871件】	渋滞 【2,260件】	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパス道路に信号があること自体が課題、信号があるから渋滞する。(地域住民) ・朝夕の通勤、退勤時の渋滞が特にひどく、社員の勤務時間に影響及ぼしている。(事業者)
	事故 【1,349件】	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田交差点の北側は下り坂カーブの先に信号交差点があり、危険である。急坂が緩やかになれば、事故の減少が期待される。(地域住民) ・林城交差点はカーブ区間であり見通しが悪く、上下線どちらも右折車両がいると対向車線が見えづらい、飯田交差点に関しては水戸方面から鹿島街道方面へ右折する際に対向車が下り坂でスピードを出してくる車があるため大変危険。(地域住民)
	産業・物流 【102件】	<ul style="list-style-type: none"> ・信号機があることでスムーズな交通、物流の妨げになっている。(地域住民) ・平日は特に、決まった場所が決まった時間で混雑してしまい、利便性に欠ける。(事業者)
	医療 【160件】	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性的な渋滞により緊急車両の円滑な移動に支障がある。(地域住民) ・大型車の通行も多く、渋滞時に後ろから緊急車両が来ても、速やかに道を譲ることができない。(地域住民)
その他 【1,748件】	道路構造・施設 【677件】	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離にもかかわらず2つの交差点間隔が近すぎる。(地域住民)
	防災 【356件】	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに矢田川があり、頻繁に水位上昇もあることに加え、道路の冠水も多く、非常に走りづらい。(地域住民)
	早期整備要望 【213件】	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の発生時等は大いに効果があり、第1案により解消されると思う。早急の実施を希望する。(地域住民)
	その他 【502件】	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパスの渋滞を回避するため周辺の生活道路にも車両が流入し、通学児童の安全に影響を与えている。(地域住民) ・排気ガスによる大気汚染、悪臭など。(地域住民)

2-3. 地域の意見聴取の結果(企業・関係機関ヒアリング)/対象区間の課題

- ◆ 渋滞については、通勤時間帯の著しい交通渋滞の発生や移動時間の増加等の意見があった。
- ◆ 事故については、追突事故を誘発する道路構造や渋滞を起因とする交通事故等の意見があった。
- ◆ 産業・物流については、移動時間が読めないことや定時性・速達性の低下等の意見があった。
- ◆ 医療については、急勾配での患者への負担や、朝夕の渋滞による搬送時間の遅れ等の意見があった。

分類		主な意見
政策目標(案)	渋滞	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の通勤時間帯を中心に著しい交通渋滞が発生している状況であり、市民生活や地域活動を停滞させる大きな要因となっている。(自治体) ・平～小名浜間を通勤する際に混雑しているため移動に時間を要している。(観光) ・慢性的に交通量が多く、渋滞が発生しており、バイパスとしては区間通行に時間がかかる。(商工会議所) ・渋滞が原因で移動時間に大幅なずれが生じることは、観光拠点の立寄り箇所の減少にも繋がり、いわき市の魅力発信や産業振興を阻害している。(道の駅)
	事故	<ul style="list-style-type: none"> ・対象区間では急勾配の先に交差点のある道路構造が追突事故を誘発している。(警察機関) ・渋滞に起因する交通事故が発生し、事故発生による渋滞の悪化と負のサイクルとなっている。(警察機関) ・林城、飯田交差点では、交通事故が何度も発生しており、事故発生によってひどい渋滞が発生している。(自治体)
	産業・物流	<ul style="list-style-type: none"> ・対象区間では渋滞するため、会社から荷主までの移動時間が読めない。余裕を持って移動する必要があり、業務に影響がある。(物流関連団体) ・バス運行時の定時性に影響が出ている。(バス事業者) ・渋滞により、市内移動にかかる速達性が低下し、運行効率が悪くなる。(タクシー会社)
	医療	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田交差点の北側は勾配がきつく、スピードが出すぎないようにブレーキ頻度が多くなり、患者に負担がかかってしまう。(消防機関) ・国道6号の林城、飯田交差点での朝夕の渋滞により、搬送時間に遅れが生じている。(消防機関)
その他	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・国道を避けて県道を通行する車両が多くなり、沿道商業店への出入りが煩雑になり、影響を与えている。(商工会議所) ・国道6号の渋滞により、市道等へ流れる車が多く、横断ができない、歩道が狭くなってしまう等歩行者が危険である。(教育機関) ・観光施設間の連携として、21世紀の森公園でサッカー観戦する来訪者が増加しており、サッカー観戦後に小名浜方面や四倉方面に向かう来訪者も多く、渋滞による滞在時間への影響は大きい。(観光)

2-3. 地域の意見聴取の結果/対象区間における課題まとめ

◆ 意見聴取の結果から得られた地域の課題意見を踏まえ、政策目標は妥当であると確認された。

■ 国道6号小名浜地区(林城～飯田)の交通課題について

	アンケート結果(全体 N=19,948) <small>■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答・不明</small>	ヒアリング結果
① 渋滞	A. 交通渋滞が発生し、日常生活の移動に支障を感じる 	・朝夕の通勤時間帯を中心に著しい交通渋滞が発生している状況であり、市民生活や地域活動を停滞させる大きな要因となっている。 ・慢性的に交通量が多く、渋滞が発生しており、バイパスとしては区間通行に時間がかかる。
② 事故	B. 交通事故が多く安全性が低いと感じる 	・対象区間では急勾配の先に交差点のある道路構造が追突事故を誘発している。 ・林城、飯田交差点では、交通事故が何度も発生しており、事故発生によってひどい渋滞が発生している。
③ 産業・物流	C. 効率的な物流活動を阻害していると感じる 	・対象区間では渋滞するため、会社から荷主までの移動時間が読めない。余裕を持って移動する必要があり、業務に影響がある。 ・渋滞により、市内移動にかかる速達性が低下し、運行効率が悪くなる。
④ 医療	D. 救急搬送時の速達性や安定性が低いと感じる 	・飯田交差点の北側は勾配がきつく、スピードが出すぎないようにブレーキ頻度が多くなり、患者に負担がかかってしまう。 ・国道6号の林城、飯田交差点での朝夕の渋滞により、搬送時間に遅れが生じている。

政策目標(案)

主要幹線道路としての円滑性確保

安全な交通環境の確保

円滑な物流ルート確保

救急搬送環境の確保

上記①～④以外の問題や改善してほしい点

上記①～④に関連した意見 3,871 (69%)	【その他意見】 ・道路構造・施設に関する意見(交差点間隔など) ・防災に関する意見(冠水など) ・整備方針に関する意見(早期整備要望など)
--------------------------------	--

自由意見回答数 N=5,619

アンケート・ヒアリング結果からも、第1回計画段階評価で設定した**政策目標は妥当**である

2-3. 地域の意見聴取の結果(重視すべき項目について)

◆ アンケート調査で対応方針(案)を検討する際に重視すべき項目、その他配慮すべき項目について意見聴取を実施。

質問① 対象区間にはどのような課題があると思いますか？以下のA～Dの各項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

あなたの評価程度:1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない

- A. 交通渋滞が発生し、日常生活の移動に支障を感じる
- B. 交通事故が多く安全性が低いと感じる
- C. 効率的な物流活動を阻害していると感じる
- D. 救急搬送時の速達性や安定性が低いと感じる

質問② 質問①で提示した項目以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

質問③ 対応方針を検討する際に重視すべきと思うことは何ですか？以下のA～Jの各項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

あなたの評価程度:1.重視すべき 2.必ずしも重視しなくてよい 3.重視しなくてよい

- A. 評価対象区間(林城・飯田交差点)の渋滞が改善すること(渋滞)
- B. 交通事故が少なくなり、走行する際の安全性が向上すること(事故)
- C. 目的地への移動時間が短縮し、到着時間が読み易くなること(移動時間)
- D. 救急搬送の時間が短くなり、速達性・安定性が向上すること(救急搬送)
- E. 道路沿いの自然環境(桜堤)への影響が小さいこと(自然環境)
- F. 沿線から国道6号へのアクセスがしやすいこと(沿道からのアクセス)
- G. 道路整備に伴う沿道や家屋等への影響が小さいこと(沿道用地への影響)
- H. 工事中の騒音・振動が小さいこと(工事中の騒音・振動)
- I. 供用後の騒音・振動が小さいこと(供用後の騒音・振動)
- J. 道路をつくる費用が安いこと(経済性)

質問④ 質問③の中で特に重視する項目について、そう思われる理由を記載してください。

質問⑤ 質問③の項目以外で、重視すべきと思われることを記載してください。

政策目標(案)の妥当性を確認

第1回地方小委員会で設定した政策目標(案)

主要幹線
道路として
の円滑性
確保

安全な
交通環境
の確保

円滑な
物流ルート
の確保

救急搬送
環境
の確保

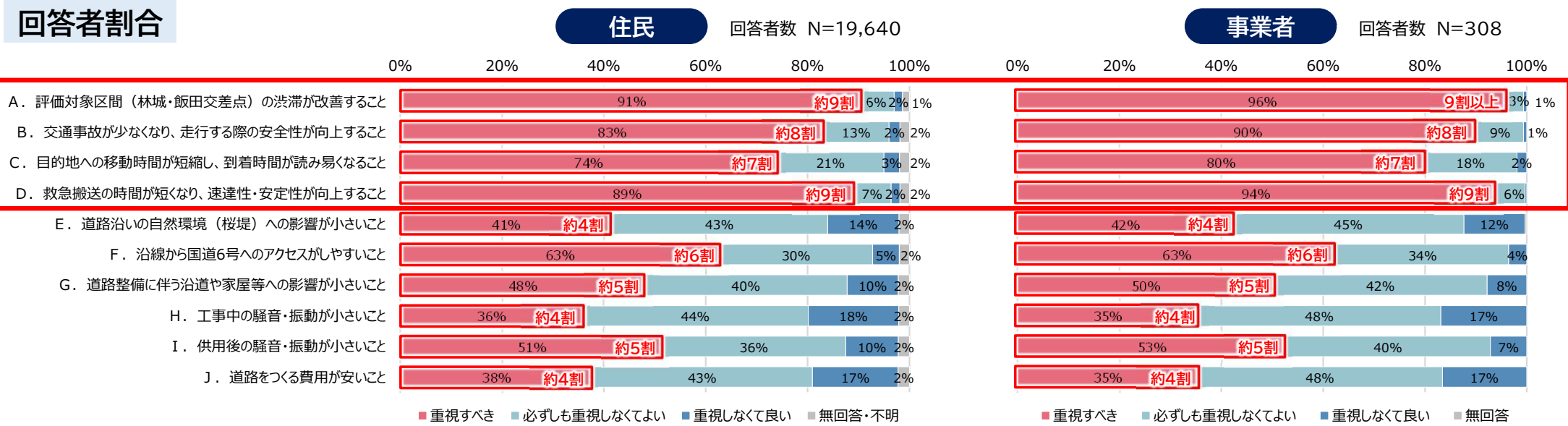
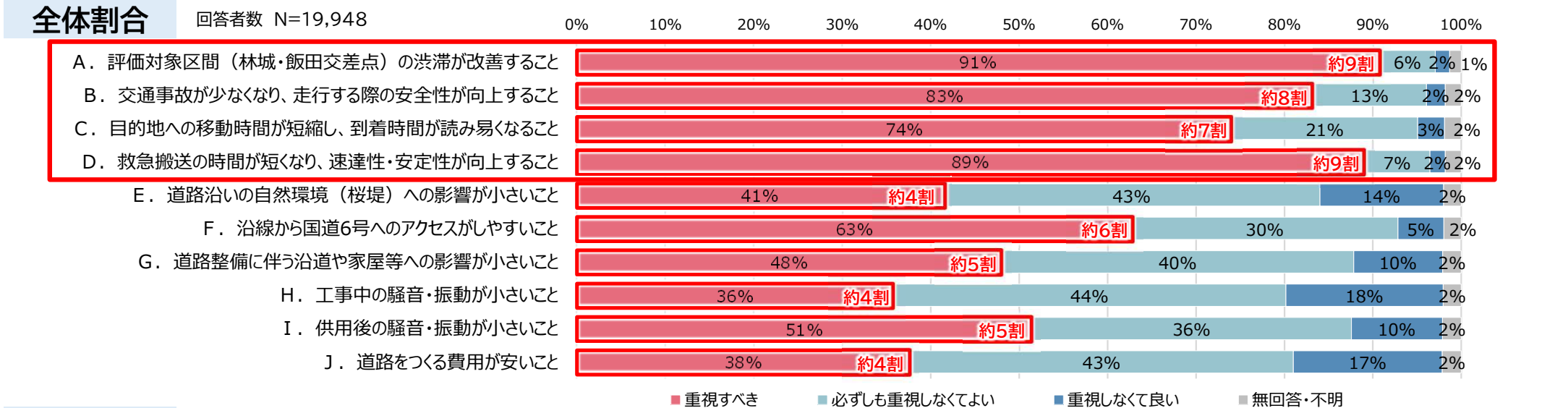
構造検討に際し、比較・評価する
「重視すべき内容」・
「配慮すべき内容」を確認

上記以外の「配慮すべき内容」や
「道路整備に関する意見」を確認

2-3. 地域の意見聴取の結果(アンケート調査)/重視すべき項目

◆ 対策方針(案)を検討する際に重視すべき項目として、地域住民・事業者ともに政策目標A~Dの4項目いずれも7割以上が重視すべきと回答。

質問③ 対応方針を検討する際に重視すべきと思うことは何ですか？以下のA~Jの各項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。
あなたの評価程度:1.重視すべき 2.必ずしも重視しなくてよい 3.重視しなくてよい



2-3. 地域の意見聴取の結果(アンケート調査)/重視すべき理由

- ◆ 対策方針(案)を検討する際に重視すべき項目について、「渋滞が改善されること」を重視すべきとの回答が最も多く、「渋滞解消が最重要課題」等の意見をいただいた。

質問④ 質問③の中で特に重視する項目とその理由を記載してください。

項目	主な意見
A.渋滞が改善すること 【4,958件】(住民4,816件、事業者142件)	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞によって事故や緊急車両への影響、目的地への到着時間が読めなくなっているため、根本原因である渋滞解消が最重要課題である。(地域住民) ・渋滞が緩和されると、事故や物流効率、救急搬送等それらがすべて緩和されると思うため。(事業者) ・当区間は信号機があることにより他の区間よりも渋滞が発生するため、渋滞の緩和が急務であるから。(地域住民)
B.事故が減少し、走行安全性が向上すること 【1,324件】(住民1,282件、事業者42件)	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田交差点手前のカーブの下り坂が事故を誘発し、怖いと感じるため。(地域住民) ・信号の連続により通勤時間帯の渋滞が常態化しているとともに、追突事故や右直事故が頻発しているため。(地域住民) ・朝夕の渋滞がひどく、事故発生時は延着等になるため。(事業者)
C.目的地への移動時間が短縮し、定時性が向上すること 【87件】(住民76件、事業者11件)	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤、物流は市民生活と企業活動において重要なことであり、慢性的な渋滞はいわき市における損失であるから。(事業者) ・信号交差点により、市道からの流入による朝夕の慢性的な渋滞が生じており、移動に際しての定時性が確保できないため。(事業者) ・運送業の24年問題により、目的地に早く到着するための移動時間短縮は必須なため。(事業者)
D.救急搬送の速達性・安定性が向上すること 【642件】(住民632件、事業者10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療センターへの搬送に際して、6号バイパスの渋滞が解消されれば搬送時間が短縮し、救命率向上が期待されるため(地域住民) ・渋滞解消により事故が減り緊急車両も通行しやすくなることで、搬送時間の短縮によって助かる命が増える可能性があるため。(事業者)
E.自然環境への影響が小さいこと 【142件】(住民141件、事業者1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅街が近くあるので、騒音や排ガスによる大気汚染、桜並木の景観などは配慮してほしいです。(地域住民) ・自然環境の保全と利便性の調和が必要と考えます。(事業者)
F.沿道からのアクセスがしやすいこと 【391件】(住民387件、事業者4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象区間の近所に住んでおり、生活する上で毎日必ず国道6号線は使うので沿線からのアクセス性も考慮して頂きたい。(地域住民) ・沿道からのアクセス性が悪くなると、並行する鹿島街道を利用する車両が増え、鹿島街道の渋滞悪化が懸念されるため。(地域住民)
G.沿道や家屋等への影響が小さいこと 【91件】(住民91件、事業者0件)	<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収に時間がかかれば、実現するのに時間がかかる。また、予算も想定より増えるため。(地域住民)
H.工事中の騒音・振動が小さいこと 【30件】(住民29件、事業者1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・病院また民家が多いため工事中の騒音対策は充分検討してもらいたい。(地域住民) ・交通渋滞と事故防止は必然だし、工事の影響が回りの住民に悪影響を与えない様にする事は大切(事業者)
I.供用後の騒音・振動が小さいこと 【23件】(住民23件、事業者0件)	<ul style="list-style-type: none"> ・供用後の騒音、振動を受けることが予測され、近隣で生活する上ではより小さいことが望まれる。(地域住民)
J.道路をつくる費用が安いこと 【292件】(住民286件、事業者6件)	<ul style="list-style-type: none"> ・将来のメンテナンスも含め費用対効果が十分にあることが重要である。(地域住民) ・道路そのものの耐久性や安全性は非常に重要であるが大切な税金を投じるため、適正な費用で対応してほしい。(地域住民)

2-3. 地域の意見聴取の結果(アンケート調査)/その他の重視事項

- ◆ 政策目標・配慮すべき事項以外では「早期整備に関する意見」が多く、「物流の要であるので早期実現が望まれる」等の意見をいただいた。
- ◆ また、「工事実施に関する意見」も多く、「工事中に現状以上の渋滞が発生しないようにすること」等の意見をいただいた。

質問⑤ 質問③の項目以外で、重視すべきと思われることを記載してください。

項目	主な意見
早期整備に関する意見 【762件】(住民753件、事業者9件)	<ul style="list-style-type: none"> ・いわき市の物流の要であるので早期実現が望まれる。(地域住民) ・工事中に今以上の渋滞は困る。お金がかかっても、より早く安全に工事を進め完成してほしい。(地域住民)
工事実施に関する意見 【505件】(住民499件、事業者6件)	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中に現状以上の渋滞が発生しないようにすること。(地域住民) ・工事期間、完了後を問わず、周辺道路への影響を極力考慮すべきであり、迂回路の整備、事前の広報活動を通し、市民への周知を図るべき。(事業者)
整備方針に関する意見 【354件】(住民351件、事業者3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・片側高架案の場合、林城交差点を先頭とした渋滞が懸念される、連続高架案が良い。(地域住民) ・連続立体交差になれば、並行する河川が氾濫しても避難路として活用することができる。(地域住民)
交通安全対策に関する意見 【326件】(住民326件、事業者0件)	<ul style="list-style-type: none"> ・立体交差点化について、飯田～林城～住吉の区間が短いので、逆走防止と合流時の事故対策が他地区より重要になる。(地域住民) ・渋滞解消により走行しやすくなるが、一方で制限速度を超過する車両が増加すると思います。走行速度を確実に抑制させることについて重視すべき(地域住民)
道路構造・施設に関する意見 【281件】(住民273件、事業者8件)	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田交差点の北側は下り坂カーブの先に信号があり、危険である。急坂が緩やかになれば、事故の減少が期待される。(地域住民) ・立体交差の勾配が大きくないこと(地域住民)
観光に関する意見 【235件】(住民224件、事業者11件)	<ul style="list-style-type: none"> ・いわき市は面積が広いが交通手段がない。観光客も車が必須になるから渋滞緩和が必要。(地域住民)
経路案内に関する意見 【185件】(住民183件、事業者2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパスから降りる際の看板や道路標識をわかりやすくしてほしい。(地域住民) ・分かりやすい交通案内板の設置。(事業者)
防災に関する意見 【161件】(住民156件、事業者5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・最近水害や地震などの災害も増えていますので、その際にも使えるような、災害に強い道路整備も必要である。(地域住民)
歩行者・自転車に関する意見 【129件】(住民129件、事業者0件)	<ul style="list-style-type: none"> ・車の利便性だけを考えるのではなく、歩行者や自転車などにも安全で利便性のある改良工事が重要だと考える。(地域住民)
道路整備に否定的な意見 【61件】(住民61件、事業者0件)	<ul style="list-style-type: none"> ・高架橋整備ではなく信号機の時間調整と高速道路の活用、別ルートの周知でなんとかなるはず。税金の無駄遣いと思えない。(地域住民)

※「政策目標・配慮すべき事項に関する意見:2,775件、その他(本事業に関連しない意見):920件」は除外

2-3. 地域の意見聴取の結果(企業・関係機関ヒアリング) / 重視すべき項目 24

◆ 政策目標に関する内容については、「渋滞が改善されること」を重視すべきとの回答が最も多く、「渋滞改善によって渋滞に起因する交通事故減少や周辺の渋滞改善も見込まれる」等の意見をいただいた。

項目	主な意見
A. 渋滞が改善すること	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞改善により、渋滞に起因する交通事故の減少、対象区間の渋滞に起因する周辺地域の渋滞改善が見込まれるため。(警察機関) ・渋滞の改善により、移動時間の短縮(生活環境の改善、経済活動の活性化)や交通事故の減少(安全性の向上)などの波及効果が見込まれるため。(自治体) ・通学時間帯は国道6号の渋滞により並行する市道を抜け道利用する車両が多いため、渋滞の緩和により通学路の安全性が高まることが期待されるため。(教育機関)
B. 事故が減少し、走行安全性が向上すること	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性が向上すれば、事故発生による渋滞の悪化という負のサイクルを脱することができるため。(警察機関)
C. 目的地への移動時間が短縮し、定時性が向上すること	<ul style="list-style-type: none"> ・会社から荷主までの移動時間が読めるようになれば、出発時間が大きく変わる。物流2024年問題に対応して、如何に残業させないようにするのかといったテーマがあることから、移動時間が読めるような状況となってほしい。(物流関連団体) ・いわき市内の移動にかかる所要時間が短縮することにより、施設への滞在時間が増加し顧客単価の上昇が期待されるため。(観光)
D. 救急搬送の速達性・安定性が向上すること	<ul style="list-style-type: none"> ・対象区間の渋滞が改善することによって、安全に緊急走行ができるため。(消防機関)
E. 自然環境への影響が小さいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が整備し、観光資源となっている鹿島千本桜を重視するため。(観光)
F. 沿道からのアクセスがしやすいこと	※特筆すべき意見無し
G. 沿道や家屋等への影響が小さいこと	※特筆すべき意見無し
H. 工事中の騒音・振動が小さいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間に騒音が発生すると、入院患者や施設職員に影響がある。(医療関係)
I. 供用後の騒音・振動が小さいこと	※特筆すべき意見無し
J. 道路をつくる費用が安いこと	※特筆すべき意見無し
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・対象区間の課題を解決するためには、連続高架が望ましい。(自治体) ・観光や地域間交流が活発化すること。(自治体)

2-4.地域の意見聴取のとりまとめ/評価項目の設定

- ◆ 対応方針の重視すべき項目として、「渋滞が改善すること」、「救急搬送の速達性・安定性が向上すること」、「交通事故が減少すること」「物流経路の速達性が向上すること」が求められている。
- ◆ その他の重視事項として、「早期整備」、「工事実施」、「道路構造・施設」に関する意見が寄せられた。

項目		アンケート結果	ヒアリング結果(主な意見)	重視すべき事項
政策目標	主要幹線道路としての円滑性確保	A. 評価対象区間(林城・飯田交差点)の渋滞が改善すること 91% 約9割 2% 6% 1%	・渋滞改善により、渋滞に起因する交通事故の減少、対象区間の渋滞に起因する周辺地域の渋滞改善が見込まれるため。	○
	安全な交通環境の確保	B. 交通事故が少なくなり、走行する際の安全性が向上すること 83% 約8割 13% 2% 2%	・安全性が向上すれば、事故発生による渋滞の悪化という負のサイクルを脱することができるため。	○
	円滑な物流ルートの確保	C. 目的地への移動時間が短縮し、到着時間が読み易くなること 74% 約7割 21% 3% 2%	・会社から荷主までの移動時間が読めるようになれば、出発時間が大きく変わる。物流2024年問題に対応して、如何に残業させないようにするのかといったテーマがあることから、移動時間が読めるような状況となってほしい。	○
	救急搬送環境の確保	D. 救急搬送の時間が短くなり、速達性・安定性が向上すること 89% 約9割 7% 2% 2%	・対象区間の渋滞が改善することによって、安全に緊急走行ができるため。	○
配慮すべきポイント	自然環境	E. 道路沿いの自然環境(桜堤)への影響が小さいこと 41% 約4割 43% 14% 2%	・地域住民が整備し、観光資源となっている鹿島千本桜を重視するため。	
	沿道アクセス	F. 沿線から国道6号へのアクセスがしやすいこと 63% 約6割 30% 5% 2%	※特筆すべき意見無し	
	用地への影響	G. 道路整備に伴う沿道や家屋等への影響が小さいこと 48% 約5割 40% 10% 2%	※特筆すべき意見無し	
	沿道環境への影響	H. 工事中の騒音・振動が小さいこと 36% 約4割 44% 18% 2%	・夜間に騒音が発生すると、入院患者や施設職員に影響がある。	
	沿道環境への影響	I. 供用後の騒音・振動が小さいこと 51% 約5割 36% 10% 2%	※特筆すべき意見無し	
	経済性	J. 道路をつくる費用が安いこと 38% 約4割 43% 17% 2%	※特筆すべき意見無し	
その他 (自由意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・早期整備に関する意見 ・工事実施に関する意見 ・整備方針に関する意見 ・その他意見 		<ul style="list-style-type: none"> ・対象区間の課題を解決するためには、連続高架が望ましい。 ・観光や地域間交流が活発化すること。 	

3-1.対策方針(案)の検討

◆ 国道6号小名浜地区(林城～飯田)は第1回小委員会において、現道上での整備が合理的と整理し、同一のルート帯において対応可能となる対策案を設定。

位置図



整備形態	標準断面図
第1案 連続高架案	<p>【鳥瞰図】 </p> <p>【横断面図】 </p>
第2案 片側高架+ 平面拡幅案	<p>【鳥瞰図】 </p> <p>【横断面図】 </p>

3-1. 対策案の検討(複数案の比較・評価)

- ◆ 地域意見聴取では、重視すべき項目として政策目標の4項目への意見が多く寄せられた。
- ◆ 政策目標のうち「主要幹線道路としての円滑性確保」「安全な交通環境の確保」、配慮すべき事項のうち「自然環境」及び「用地への影響」の項目において、第1案「連続高架案」が優れている。

整備形態		第1案 連続高架案		第2案 片側高架+平面拡幅案	
		2つの交差点を連続して高架とする案 (高架部:4車線(側道部:2車線))		林城交差点を拡幅、飯田交差点を高架とする案 (平面部:6車線、高架部:4車線(側道部:2車線))	
構造イメージ		<p>【平面図】</p> <p>【横断面図】</p>		<p>【平面図】</p> <p>【横断面図】</p>	
政策目標	主要幹線道路としての円滑性確保	交通容量の確保、信号交差点の削減	◎ ・信号交差点の高架化により、交通の流れがよくなり、渋滞が緩和する。 ・信号交差点の高架化により、信号待ちの時間が無くなり、走行の円滑性が向上する	○ ・飯田交差点の高架化及び車線拡幅により、交通の流れがよくなり、渋滞が緩和する。 ・ただし、林城交差点の信号が残るため、信号待ちの時間があり、走行の円滑性の向上は限定的である。	
	安全な交通環境の確保	安全な交通環境	◎ ・渋滞の緩和により、渋滞が原因となる交通事故の減少が期待される。 ・飯田交差点の高架化や交差点北側の坂が緩やかになることにより、追突事故の減少が期待される。	○ ・渋滞の緩和により、渋滞が原因となる交通事故の減少が期待される。 ・飯田交差点の高架化や交差点北側の坂が緩やかになることにより、追突事故の減少が期待される。 ・ただし、林城交差点の信号が残るため、渋滞が原因となる交通事故の減少は限定的である。	
	円滑な物流ルートの確保	物流ルートの速達性の向上	◎ ・渋滞の緩和により、物流ルートの速達性が向上する。	◎ ・現状よりも渋滞が緩和され、物流ルートの速達性が向上する。	
	救急搬送環境の確保	救急搬送の速達性、安定性の向上	◎ ・渋滞の緩和により、救急搬送の速達性・走行の安定性が向上する。 ・飯田交差点北側の坂が緩やかになるため、救急搬送の走行の安定性が向上する。	◎ ・現状よりも渋滞が緩和され、救急搬送の速達性・走行の安定性が向上する。 ・飯田交差点北側の坂が緩やかになるため、救急搬送の走行の安定性が向上する。	
配慮すべき事項	自然環境	自然環境の改变	○ ・高架区間が一定区間連続しており、高架下を道路空間として活用できるため、第2案と比較して用地買収面積が少なく、沿道の桜堤への影響が小さい。	△ ・高架区間が短いため高架下を道路空間として活用できず、道路拡幅等に伴い用地買収が必要となるため、沿道の桜堤への影響が大きい。	
	沿道アクセス	沿道施設へのアクセス性	△ ・区間全体を高架としており、沿道施設には側道を経由してアクセスするため、現況よりもアクセス性は下がる。	○ ・沿道施設には直接アクセスできるため、アクセス性は現況と同等。	
	用地への影響	沿道施設の用地への影響	○ ・高架区間が一定区間連続しており、高架下を道路空間として活用できるため、沿道施設の用地への影響が小さい。	△ ・高架区間が短いため高架下を道路空間として活用できず、道路拡幅等に伴い用地買収が必要となるため、沿道施設の用地への影響が大きい。	
	沿道環境への影響	騒音・振動による影響	○ ・工事期間中は、高架橋脚の基礎工事に伴い、騒音・振動に配慮する必要がある。 ・供用後は、高架区間では遮音壁等により騒音対策を実施しやすい。	○ ・工事期間中は、高架橋脚の基礎工事や拡幅部の地盤改良工事に伴い、騒音・振動に配慮する必要がある。 ・供用後は、高架区間では遮音壁等により騒音対策を実施しやすい。	
経済性	整備に関する費用	-	約350~410億円	-	約270~330億円

◎:改善・満足する ○:一部改善・満足する △:他案に比べ劣る アンケート調査及びヒアリング調査により重視すべき事項 ※現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある。

3-2.対応方針(原案)の検討



凡 例	
コントロールポイント	
	民間施設
	公共施設
	病院
	国道6号
	主要な道路
	神社・寺
	遺跡・包蔵地
	公園
	河川
	河川区域

道路整備の必要性

第1回計画段階評価時に政策目標(案)を設定

【政策目標】

- 主要幹線道路としての円滑性確保
- 安全な交通環境の確保
- 円滑な物流ルート of 確保
- 救急搬送環境の確保

地域の意見聴取結果において妥当性を確認

地域の意見聴取により評価項目を確認

【対応方針の検討において重視すべき事項】

- 評価対象区間(林城・飯田交差点)の渋滞が改善すること
- 交通事故が少なくなり、走行する際の安全性が向上すること
- 目的地への移動時間が短縮し、到着時間が読み易くなること
- 救急搬送の時間が短くなり、速達性・安定性が向上すること

【その他配慮すべき事項】

自然環境、沿道アクセス、用地への影響、沿道環境への影響、経済性

対応方針(原案)

【対応方針(原案)について】

連続高架構造は、政策目標として掲げている渋滞、事故、産業・物流、医療の各項目に対する課題解決が期待できるとともに、自然環境や用地への影響が片側高架+平面拡幅構造と比べて小さいため、**対応方針(原案)は第1案「連続高架案」とする。**

【理由】

- 地域の課題を解決するための政策目標(「主要幹線道路としての円滑性確保」、「安全な交通環境の確保」、「円滑な物流ルートの確保」、「救急搬送環境の確保」)を達成。
- 地域の意見聴取結果で得られた多くの地域のニーズに応えられる。
- 影響する自然環境・用地が少なく、自然環境や沿道環境の面で優れている。

4.自治体への意見照会結果【対応方針(原案)に対する意見】/福島県

■意見照会の回答(要旨)

自治体名	意見
福島県	<p>国道6号小名浜地区(林城～飯田)の<u>対応方針(原案)について同意します。</u></p> <p>国道6号は、福島県浜通りと首都圏を結ぶ主要幹線道路であり、特にいわき市内は東北有数の工業地帯であることから、地域経済活動において重要な役割を担っております。</p> <p>このような中、当該区間は4車線で供用されておりますが、信号交差点が連続していることから、朝夕の時間帯を中心に渋滞が著しい区間となっております。また、渋滞による追突事故が多発しており、救急搬送にも影響を及ぼしているため、これらの課題解決に向け<u>小名浜地区(林城～飯田)は交通の円滑化や安全な交通環境確保等に向けた整備が不可欠な状況であります。</u></p>

6道第677号
令和6年12月9日

国土交通省 東北地方整備局長 様

福島県知事
(公印省略)

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について (回答)

令和6年12月9日付け国東整道一計第9号で意見照会ありました国道6号小名浜地区(林城～飯田)の対応方針(原案)について同意します。

国道6号は、福島県浜通りと首都圏を結ぶ主要幹線道路であり、特にいわき市内は東北有数の工業地帯であることから、地域経済活動において重要な役割を担っております。

このような中、当該区間は4車線で供用されておりますが、信号交差点が連続していることから、朝夕の時間帯を中心に渋滞が著しい区間となっております。また、渋滞による追突事故が多発しており、救急搬送にも影響を及ぼしているため、これらの課題解決に向け小名浜地区(林城～飯田)は交通の円滑化や安全な交通環境確保等に向けた整備が不可欠な状況であります。

このため、福島県としては、当該区間の事業推進に必要な関係機関協議や地元調整に協力していくとともに、いわき市内における渋滞箇所の対策に取り組んでまいります。

つきましては、小名浜地区(林城～飯田)の一日も早い事業化に向けて、調査を推進されますよう特段の御配慮をお願いいたします。

(事務担当 土木部道路計画課 副課長兼主任主査 高畑 修 電話 024-521-7469)


■意見照会の回答(要旨)

自治体名	意見
いわき市	<p>国道6号小名浜地区(林城～飯田)における<u>対応方針(原案)について同意します。</u></p> <p>一般国道6号は、本市の主要幹線道路ネットワークの中心をなし、多様な分野での交流促進や物流の効率化への寄与、さらには、災害時における緊急輸送道路としての役割を担うなど、本市にとりまして、市民生活や経済活動を支える極めて重要な幹線道路であります。</p> <p>しかしながら、当該路線のうち、小名浜地区(林城～飯田)においては、朝夕を中心に慢性的な交通渋滞の発生や交通事故の多発など、幹線道路としての機能低下により、市民生活や地域経済活動を停滞させる大きな要因となっております。</p> <p>よって、<u>国道6号小名浜地区(林城～飯田)は、安全・安心な市民生活環境や安定した地域経済活動の確保に向けて、渋滞対策が必要不可欠であります。</u></p>

6 土 第 141 号
令和6年12月16日

国土交通省東北地方整備局長
西村 拓 様

いわき市長
内田 広之



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について (回答)

令和6年12月9日付け国東整道一計第9号で照会がありました、国道6号小名浜地区(林城～飯田)における対応方針(原案)について同意します。

一般国道6号は、本市の主要幹線道路ネットワークの中心をなし、多様な分野での交流促進や物流の効率化への寄与、さらには、災害時における緊急輸送道路としての役割を担うなど、本市にとりまして、市民生活や経済活動を支える極めて重要な幹線道路であります。

しかしながら、当該路線のうち、小名浜地区(林城～飯田)においては、朝夕を中心に慢性的な交通渋滞の発生や交通事故の多発など、幹線道路としての機能低下により、市民生活や地域経済活動を停滞させる大きな要因となっております。

よって、国道6号小名浜地区(林城～飯田)は、安全・安心な市民生活環境や安定した地域経済活動の確保に向けて、渋滞対策が必要不可欠であります。

本市としては、用地取得や事業に伴う周辺環境への影響に対する地元及び関係機関との協議、事業説明会開催に向けた調整など、事業推進に全面協力して参りたいと考えております。

つきましては、国道6号小名浜地区(林城～飯田)渋滞対策の一日も早い事業化に向けて調査を促進されますよう特段のご配慮をお願いいたします。

5-1.対応方針(案)

1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を実現できる道路整備を検討

【政策目標】

- 主要幹線道路としての円滑性確保
- 安全な交通環境の確保
- 円滑な物流ルート of 確保
- 救急搬送環境の確保



【地域の意見聴取結果】

対象範囲の課題	○道路利用者の意見から、「渋滞」「交通事故」「物流」「医療」などの課題を整理。
道路整備の必要性	○地域住民や事業者など、回答いただいた道路利用者の多くが、道路整備の必要性を感じている。
対策案検討において重視すべき事項	○地域が感じている対策案検討において重視すべき項目は「主要幹線道路としての円滑性が確保され、安全な交通環境や救急搬送環境、円滑な物流ルートが確保されること」が多い。
自治体の意見	○福島県・いわき市から、案に同意すると共に、早期事業化を要望する意見を頂いた。

2. 対応方針(案)

◆計画及び対応方針(案)

地域の課題を解決するための政策目標に寄与し、対応策として最も優れている【第1案】連続高架案とする。

【理由】

- 地域の課題を解決するための政策目標(「主要幹線道路としての円滑性確保」、「安全な交通環境の確保」、「円滑な物流ルート of 確保」、「救急搬送環境の確保」)を達成。
- 地域の意見聴取結果で得られた多くの地域のニーズに応えられる。
- 影響する自然環境・用地が少なく、自然環境や沿道環境の面で優れている。

5-1.対応方針(案)まとめ

◆ 対象区間内を連続高架とすることで、課題解消を図る。

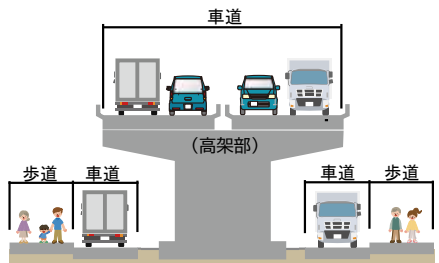
■整備概要

延長	約3km
設計速度	V=80km/h
構造	橋梁、擁壁等
コスト	約350～410億円

■構造イメージ



【横断面図】



■ポイント

- 両交差点を連続高架とすることで、**交通容量の拡大を図る**
- 渋滞の緩和や交差点の高架化により、**安全な交通環境の確保を図る**
- 渋滞の緩和により、**円滑な物流ルート、救急搬送環境の確保を図る**
- 高架下を道路空間として活用できることにより、**自然環境や沿道施設の用地への影響を極力回避**

凡例	
コントロールポイント	
	民間施設
	公共施設
	病院
	国道6号
	主要な道路
	神社・寺
	遺跡・包蔵地
	公園
	河川
	河川区域

